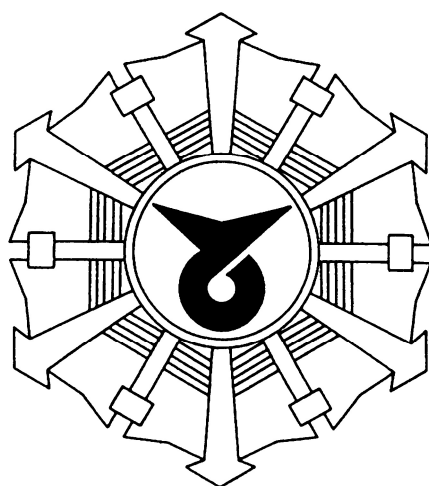


令和 5 年 版

消 防 年 報



天 童 市 消 防 本 部

(令和 6 年刊行)

天童市市民憲章（昭和四十九年十月一日制定）

わたくしたちは、躍進する天童市の市民です。
すすんで力をあわせ、愛する郷土の未来をひらきます。

美しいまちをつくりましょう

自然を愛します

まわりをきれいにします

公共物を大切にします

明るいまちをつくりましょう

スポーツに親しみます

公衆衛生を重んじます

安全にくらせるようにします

あたたかいまちをつくりましょう

生涯教育をすすめ、教養を高めます

伝統を育て、文化財大切にします

親切の輪をひろげ、あたたかく人に接します

豊かなまちをつくりましょう

仕事に生きがいを求めます

よく考えて働きます

たがいに仕事を理解しあいます

住みよいまちをつくりましょう

すすんでまちづくりに参加します

きまりを正しく守ります

たがいに助けあい、仲間づくりをすすめます

天童市市民歌（昭和四十九年十二月一日制定）

作詞 大沼 武
補作 真壁 仁
作曲 渡辺 哲哉

一、明けそめる 出羽の山なみ

風青き 村山の野を

そそぎゆく 最上の流れ

野に町に いまおこる

生産の意気

讃えよ われら

若き都市 天童

わがふるさと

二、かぎりなき 夢よ希望よ

手をむすび きずきゆく自治

あたらしき 歴史をめざし

若人の胸こがす

創造の意志

讃えよ われら

自由の都市 天童

わがふるさと

三、いで湯わく 泉さながら

たゆみなく 進みゆく町

伝統の 文化のうえに

きりひらく この未来

建設の意気

讃えよ われら

市民の都市 天童

わがふるさと

は　じ　め　に

この年報は、令和 6 年 4 月 1 日現在における本市消防の現勢と令和 5 年中における消防諸般の状況を収録し、消防行政の参考資料にするとともに、消防事情を広く一般に紹介するために編さんしました。

この年報によって本市消防の現状を認識し深く御理解いただければ幸いです。

なお、本誌における統計については、暦年を原則として作成しておりますが、これによらないものについては、記載してある年月日によります。

天童市消防本部

目 次

1. 天童市の概要

天童市の沿革	1
自然環境	2
人口と世帯数の推移	3

2. 総務関係

天童市消防本部・署の沿革	4～7
歴代消防長	8
歴代消防次長	8
歴代消防署長	9
天童市行政組織機構図	10
消防の組織機構図	11
消防職員配置状況	11
消防本部の分掌事務	12～13
消防署の所掌事務	13
消防予算	14
消防職員年齢及び階級別職員数	15
消防職員の階級別勤続年数	15
消防力の整備指針に関する概要	16
消防職員消防学校等入校調	17
消防職員教育実施状況	18
消防職員特殊技能資格取得状況	19

3. 消防施設・機械器具

消防庁舎の概要	20
消防本部・署車両の現有状況	21
主な救助隊装備資器材	22～24
地区別消防水利設置状況	25
通信施設等概要	26
高機能消防指令センターによる災害通報の受付から出場までの指令業務	27

4. 予 防

防火対象物	28
消防用設備等設置現況	29
各種届出受理状況	30
危険物製造所等施設数	31
危険物製造所等規制事務申請件数	31
危険物施設の推移(過去 15 年間)	32
建築同意	33

5. 警 防

災害等受信状況	34
災害等緊急出場状況	35
その他の緊急出場状況	36
その他の出場状況	37
訓練実施状況	38
防火対象物等消防訓練実施状況	39
災害等出場状況(消防団)	40
降雪・積雪記録	41
累積降雪量	41
月別気象統計表	42
月別気温	43
最高・最低気温と平均気温	43
最大風速と平均風速	43

6. 火 災 統 計

火災発生状況(前年との比較)	44
月別火災発生状況	45
曜日別火災発生状況	45
時間別火災発生状況	46
原因別火災発生状況	47
火災の覚知別件数	47
出 火 率	48
過去 10 年間の火災件数	48
天童市の主な火災記録	49～52

7. 救急・救助統計

救急出場件数(前年との比較)	53
月別・事故別出場件数と搬送人員	54
救急隊員の行った応急処置	55
医療機関別搬送人員	56
時間別出場状況	57
年齢・性別・事故別搬送人員	57
事故別・傷病程度別搬送人員	58
曜日別出場件数・搬送人員	58
月別出場件数	59
発生場所別搬送人員	60
覚知から収容までの時間	60
覚知から現場到着所要時間別出場件数	61
覚知状況	61
過去 10 年間の出場件数及び搬送人員の推移	62
応急手当普及啓発活動状況	62
救助出場の状況	63
事故別救助活動件数及び救助人員	63

8. 消 防 団

消防団の沿革	64～65
歴代消防団長	66
歴代消防副団長	66
消防団の組織図	67
消防分団管轄図	67
年齢及び階級別消防団員数	68
消防団員の報酬等	69
在職年数別消防団員数	69
消防団員の退職・新任状況	69
消防団機械器具の現有状況	70～74

天 童 市 の 概 要

天 童 市 の 沿 革

天童の地名は、南北朝時代に、南朝方の北畠天童丸が居を構えたことに由来するといわれていますが、天から童が舞い降りたという伝説も語り継がれています。

本市の歴史的開拓を見ると、今から 1,200 年以前に天童温泉の付近に農耕を営んだ者がいて、そこに居住跡の文化財を残しました。

市内の文化経済の発展を眺めると、現在、市の中心街をなしている天童は、古くから羽州街道の宿場町として栄え、市の東端に位置する水晶山大和神社が、貞観 13 年(871 年)に従五位下に叙せられたことから見ても、付近一帯の中心をなしていたことが考えられます。

また、市の西端で最上川沿岸にある寺津地区は、天正 8 年(1580 年)最上川の舟着場として大いに賑わい、明治 34 年に奥羽本線が開通するまで、遠く京都など上方との文化・経済交流が活発に行われました。

天童市の行政区域は、昭和 29 年 10 月 1 日に 1 町 6 か村が合併して新天童町が生まれ、昭和 33 年 10 月 1 日市制を施行し、さらに昭和 37 年 10 月 20 日には隣接する豊栄村と合併を経て、今日に至っています。

市制施行以来、気候的・地理的な好条件を生かしながら、土地区画整理事業や下水道事業にいち早く着手し、生活環境の向上と産業基盤の受け皿づくりを進めながら、都市機能の整備充実に努めてきました。

このことにより、これまで高水準の人口の伸びを保ちながら発展し、近年は少子高齢化の伸展により人口の増加に陰りが出始めたものの、人口が 60,401 人、世帯数 23,065 世帯（令和 6 年 3 月 31 日現在）を擁し、活力のあるまちとして着実な発展を遂げています。

第七次天童市総合計画に掲げる天童市の将来像「笑顔 にぎわい しあわせ実感 健康都市 ～ともに明日をひらくてんどう～」の実現を目指して、全力を挙げて市民が主役の市政に取り組んでおります。

自 然 環 境

位 置

天童市は、北緯 38 度 21 分、東経 140 度 23 分の地点を中心に、山形県の中央東寄りに位置しています。東は奥羽山脈を境に宮城県と接し、西は日本三大急流の一つの最上川を境に寒河江市、北は乱川を境に東根市、そして南は立谷川を境に県都山形市に接しています。

また、交通面では、J R 東日本奥羽本線(山形新幹線)が南北に走り、同じく南北に縦走する国道 13 号と東の仙台市につながる国道 48 号が市の中心部で交わり、山形空港まで車で 10 分という交通の要衝になっています。

地 勢

地勢は山間部と平地部にほぼ二分され、東半分は奥羽山脈の一部をなす山地で、面白山(1,246m)、雨呼山(905m)などの山々が連なっています。

これらの山地からの河川は西に流れ、乱川と立谷川の 2 つの扇状地を形成しています。

平地部は、標高 85m から 110m の所にあり、中央部は、水はけが良く耕作に適し、扇端部は水量が豊富で水田に適しています。

市の中心部を倉津川が流れ、舞鶴山(241.6m)、八幡山(203m)、越王山(225.8m)が出羽三森を形づくっています。

面 積

総面積は、113.02 平方キロメートルで、東西に 18.4 キロメートル、南北に 10.6 キロメートルの広がりをもっています。

気 候

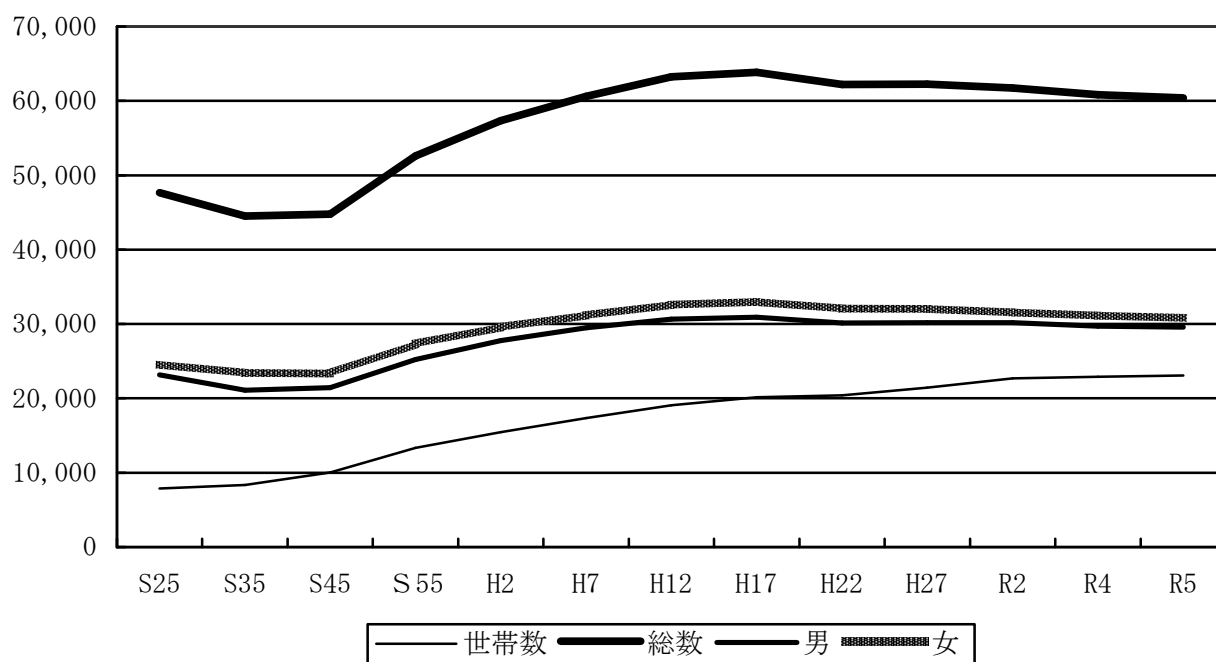
気候は内陸性気候の特色を持ち、雪国といわれる山形県の中では最も雪の少ない自然に恵まれた地域といえます。

春の気温上昇は比較的早く、桜は 4 月中旬に開花します。梅雨期の降水量は、それほど多くなく、真夏の期間は 40 日前後で、7 月下旬から 8 月にかけて高温の日が続きます。秋の訪れは急で、9 月の後半から気温が下がり、10 月下旬には紅葉が始まります。本格的な冬は 12 月中旬から 3 月中旬までです。

人口と世帯数の推移

年 次	世帯数	人 口			一世帯当たりの人口
		総 数	男	女	
昭和 25 年	7,858	47,674	23,144	24,530	6.07
35	8,344	44,521	21,091	23,430	5.34
45	10,016	44,758	21,442	23,316	4.47
55	13,358	52,597	25,240	27,357	3.94
平成 2 年	15,464	57,339	27,764	29,575	3.71
7	17,330	60,626	29,472	31,154	3.50
12	19,077	63,231	30,661	32,570	3.31
17	20,146	63,864	30,903	32,961	3.17
22	20,404	62,214	30,148	32,066	3.05
27	21,448	62,236	30,194	32,042	2.90
令和 2 年	22,681	61,735	30,175	31,560	2.72
4	22,892	60,810	29,695	31,115	2.66
5	23,065	60,401	29,556	30,845	2.62

※ 天童市制施行 昭和 33 年 10 月



総務関係

天童市消防本部・署の沿革

昭和 16 年	4 月	火災期における警戒のため、季節常備として職員 4 名を配置
昭和 18 年	5 月	戦争末期における情勢に対処し、警防団の常備部が発足
昭和 19 年	4 月	天童町消防所となり、職員 4 名増員
昭和 22 年	12 月	消防組織法が公布
昭和 23 年	7 月	消防法が公布
昭和 26 年	3 月	消防組織法の一部改正が行われ、消防本部等の設置が義務化
昭和 29 年	10 月	町村合併促進法により、1 町 6 か村が合併し、新天童町が誕生
昭和 31 年	4 月	天童町消防所を廃止し、「天童町消防本部設置条例」及び「天童町消防本部等に関する条例」を公布、消防長(町長兼任)、消防署員 15 名、ポンプ自動車 1 台配備
	6 月	職員 4 名増員、総員 19 名となる。
昭和 32 年	5 月	近隣市町(山形市、東根市、村山市、尾花沢市、豊栄村、大石田町、河北町)と火災相互応援協定を締結、職員 1 名の増員、職員 20 名となる。
昭和 33 年	10 月	市制施行、県下 10 番目
昭和 37 年	10 月	豊栄村と合併
昭和 38 年	2 月	消防本部、消防団、日本消防協会から竿頭綬を授受
	3 月	「天童市消防賞じゅつ金条例」「天童市防災会議条例」「天童市災害対策本部条例」を公布
昭和 39 年	3 月	消防本部、消防団、山形県知事から表彰旗を授受
	9 月	ライトバン(トヨタ)の配置により、任意的に救急業務を開始
昭和 41 年	6 月	国消 150 F 型 10W 無線機配置周波数 148. 21MHz
昭和 42 年	9 月	職員定数条例を改正、消防職員の定数が 32 名となる。
昭和 43 年	1 月	救急車(トヨタ F S 45 V 型)を配置し、本格的に救急業務を開始
	9 月	救急業務の政令指定となる。
昭和 44 年	3 月	消防本部、消防団、消防庁長官から竿頭綬を授受
	10 月	「天童市消防本部設置条例」「天童市消防審議会条例」を公布旧設置等条例を廃止
昭和 46 年	3 月	化学消防ポンプ自動車(Ⅱ型、いすゞ)を購入
	5 月	消防庁舎が老野森一丁目に新築落成し業務を開始
	6 月	職員定数条例を改正、消防職員の定数が 46 名となる。
昭和 47 年	3 月	消防署、警察署間に直通電話を敷設
	5 月	消防司令車(日産・スカイラインバン)を購入
	9 月	山形県、天童市主催による山形県総合防災訓練が温泉街を中心に実施
	11 月	日本損害保険協会から消防ポンプ自動車(BD-1 型、日産)の寄贈を受ける。
昭和 48 年	6 月	(財)日本船舶協会から防犯広報車(日産・グロリア)の寄贈を受ける。
	10 月	「天童市火災予防条例」が公布され、昭和 49 年 1 月 1 日から施行
昭和 51 年	3 月	日本損害保険協会から救急車(2-B、日産)の寄贈を受ける。

昭和 52 年	4 月	市内クレーン業者と高層建物災害時協力について応援協定を締結
	6 月	「天童市災害弔慰金の支給に関する条例」が公布
	12 月	山形県農業共済組合連合会から救急車(2-B 型)の寄贈を受ける。
昭和 53 年	4 月	山形県広域消防相互応援協定を締結
	9 月	職員定数条例を改正、消防職員の定数が 50 名となる。
昭和 54 年	4 月	山形空港及びその周辺における航空機事故の連絡調査に関する協定締結
	12 月	救助工作車(日産、三井)購入
昭和 55 年	3 月	消防署の一斉通報装置を設置し緊急連絡及び市民への「お知らせ」の近代化を図る。
昭和 57 年	6 月	日本船舶協会から広報車の寄贈を受ける。
	8 月	日本消防協会から救急車(2-B、日産)の寄贈を受ける。
昭和 58 年	3 月	普通型消防ポンプ自動車(CD-II 型、いすゞ)を購入
	5 月	消防司令車を更新(トヨタ、マーク II)
昭和 59 年	3 月	消防本部、消防団、消防庁長官から表彰旗を授与
	10 月	24 メートルはしご付消防ポンプ自動車(三菱、森田ポンプ)を購入
昭和 60 年	3 月	日本損害保険協会から救急車(2-B、トヨタ)の寄贈を受ける。
	8 月	日本損害保険協会から広報車(三菱、ギャラン)の寄贈を受ける。
昭和 61 年	1 月	化学消防ポンプ自動車(II 型、三菱)を更新
	8 月	日本船舶協会から防犯広報車(日産、ADバン)の寄贈を受ける。
昭和 62 年	4 月	職員定数条例を改正、消防職員の定数が 56 名となる。
	8 月	消防庁舎落成、10 日から業務開始
	9 月	自動火災報知設備監視装置の業務を開始(旅館、ホテル、病院など 26 施設)
昭和 63 年	9 月	仙台市と消防相互応援協定を締結
平成 元年	2 月	救助業務強化のため、クレーン車(20t 級、タダノ)を購入
	3 月	救助工作車(II 型、日野)を更新、旧車を三分団に配置する。
平成 2 年	10 月	日本損害協会から救急車(2-B 型、トヨタ)の寄贈を受ける。
平成 3 年	7 月	日本損害協会から水槽付消防ポンプ自動車(水 1-B 型、いすゞ)の寄贈を受ける。
	8 月	山形県、天童市主催による山形県総合防災訓練が市役所を中心に実施
平成 4 年	9 月	日本防火協会から広報車「防火号(トヨタハイエース)」の寄贈を受ける。
	10 月	第 47 回国民体育大会「べにばな国体」及び第 28 回全国身体障害者スポーツ大会「輝きのべにばな国体」が開催(消防警備業務担当)
平成 6 年	2 月	火災監視用テレビカメラが庁舎屋上に設置
	8 月	全国消防救助技術大会に出場(ロープ登はんの部、多田明和消防士)
	11 月	消防司令車(三菱、シャリオ)を更新
平成 7 年	3 月	普通型消防ポンプ自動車(CD-I 型、三菱)を購入
	11 月	山形県消防広域応援隊に関する覚書を締結
平成 8 年	2 月	高規格救急自動車を購入
	4 月	救急救命士配置
	9 月	けん引式中型放水砲(10kg/c m ² -2,400 L/min)を購入

平成 9 年	3 月	消防無線全国共通波を整備導入(全共 1「150.73MH z」全共 2「148.75 MH z」全共 3「154.15MH z」)
平成 11 年	1 月	地図検索装置更新(ナショナル)
平成 13 年	3 月	日本損害保険協会から高規格救急自動車(トヨタハイメディック)の寄贈を受ける。
平成 14 年	9 月	東北中央自動車道による消防相互応援協定に関する覚書を締結
	9 月	高速自動車道における救急業務に関する覚書を締結
	12 月	小型動力ポンプ付水槽車(B-2 級、いすゞ)の更新
平成 16 年	7 月	新潟・福島豪雨災害に緊急消防援助隊として出動
	10 月	新潟県中越地震に緊急消防援助隊として出動
平成 17 年	2 月	高機能消防指令センター(I 型)が完成
	12 月	J R 東日本羽越線列車事故に山形県消防広域応援隊として出動
平成 18 年	3 月	携帯 119 番直接受信となる。
	8 月	宝くじ協会から訓練指導車(マツダタイタン)の寄贈を受ける。
	10 月	救助工作車(II 型)を更新
	12 月	消防署の隣接地を購入し、水防倉庫(59.54 m ²)を新築
平成 19 年	4 月	職員定数条例を改正、消防職員の定数が 62 名となる。
	9 月	山形県・天童市合同総合防災訓練を市中心部地区で実施
平成 20 年	1 月	高規格救急車更新及び高度救命用資機材を整備
	6 月	岩手・宮城内陸地震に緊急消防援助隊として出動
平成 21 年	2 月	水槽付消防ポンプ自動車(II 型、日野自動車)の更新
	11 月	普通型消防ポンプ自動車(CD-I 型、日野自動車)の更新
平成 22 年	1 月	災害搬送車(トヨタコースター)を購入
	8 月	全国消防救助技術大会に出場(ロープブリッジ渡過の部、木本修消防士)
平成 23 年	3 月	東北地方太平洋沖地震に緊急消防援助隊として出動
	3 月	35m 級先端屈折水路付はしご自動車の更新
平成 24 年	8 月	全国消防救助技術大会に出場(ロープブリッジ渡過の部、早川雄大消防士)
平成 25 年	2 月	消防庁舎に太陽光発電(総発電量 10.5kW)、太陽光蓄電設備(15kWh)を設置
	3 月	高規格救急車及び高度救命用資機材を整備
	3 月	消防救急デジタル無線(活動波 1・2、主運用波、統制波 1・2・3)を整備
	3 月	消防救急デジタル無線簡易基地局(活動波 1)を田麦野地区に整備
	8 月	全国消防救助技術大会に出場(ロープ応用登はんの部、木本修消防士・赤塚祐太郎消防士)
平成 26 年	2 月	消防指揮隊車両(トヨタハイエース)を購入
平成 28 年	4 月	職員定数条例を改正、消防職員の定数が 70 名となる。
平成 29 年	2 月	消防救急デジタル無線簡易基地局(活動波 1)を蔵増地区に整備
	3 月	高機能消防指令センター(I 型)の更新
平成 30 年	12 月	女子仮眠室を整備
	12 月	倉庫を更新

平成 31 年	1 月	化学消防ポンプ自動車(Ⅱ型、日野自動車)の更新
令和元年	12 月	火災原因調査車(トヨタハイエース)を購入
	12 月	高規格救急車及び高度救命用資機材を整備
令和 2 年	12 月	消防指揮隊車両(トヨタランドクルーザープラド)を購入
令和 3 年	1 月	総務省消防庁から高機能救命ボートを無償貸与
	6 月	ドローンを購入
	9 月	災害情報収集車(ダイハツハイゼットカーゴ)を購入
	12 月	高規格救急車及び高度救命用資機材を整備
令和 4 年	11 月	一般社団法人日本損害保険協会から高規格救急自動車(トヨタハイメディック)の寄贈を受ける。
令和 5 年	3 月	庁舎内装改修工事实施。浴室を個室シャワー室に改修
	4 月	職員定数条例を改正、消防職員の定数が 72 名となる。
	12 月	庁舎外壁防水塗装改修工事实施
令和 6 年	3 月	庁舎電気設備 L E D 化工事实施

歴 代 消 防 長

歴 代	氏 名	在職年数	在 職 期 間	摘 要
初 代	平 塚 二 郎	6.7	S 31. 4 ～ S 37.10	市長(兼)消防長
2 代	阿 部 金 蔵	17.5	S 37.11 ～ S 55. 3	〃
3 代	篠 原 盛 男	3.0	S 55. 4 ～ S 58. 3	
4 代	村 山 伝 吉	2.0	S 58. 4 ～ S 60. 3	
5 代	清 野 昭治郎	3.0	S 60. 4 ～ S 63. 3	
6 代	太 賀 幸 作	2.0	S 63. 4 ～ H 2. 3	
7 代	佐 藤 康 一	2.0	H 2. 4 ～ H 4. 3	
8 代	村 山 健 吉	2.0	H 4. 4 ～ H 6. 3	
9 代	佐 藤 顯一郎	4.0	H 6. 4 ～ H 10. 3	
10 代	大 沼 利 成	1.0	H 10. 4 ～ H 11. 3	
11 代	矢 野 建 史	3.0	H 11. 4 ～ H 14. 3	
12 代	渡 邊 渡貴雄	2.0	H 14. 4 ～ H 16. 3	
13 代	山 口 勝 雄	2.0	H 16. 4 ～ H 18. 3	
14 代	安 喰 順 一	1.0	H 18. 4 ～ H 19. 3	
15 代	大 沼 武	1.0	H 19. 4 ～ H 20. 3	
16 代	伊 藤 正 雄	2.0	H 20. 4 ～ H 22. 3	
17 代	三 瓶 幸 雄	1.0	H 22. 4 ～ H 23. 3	
18 代	荒 澤 三 滋	1.0	H 23. 4 ～ H 24. 3	
19 代	武 田 忍	1.0	H 24. 4 ～ H 25. 3	
20 代	三 浦 正 行	1.0	H 25. 4 ～ H 26. 3	
21 代	野 口 忠 司	1.0	H 26. 4 ～ H 27. 3	
22 代	工 藤 仁	1.0	H 27. 4 ～ H 28. 3	
23 代	高 橋 正 義	2.0	H 28. 4 ～ H 30. 3	
24 代	新 関 知 己	2.0	H 30. 4 ～ R 2. 3	
25 代	松 田 豊 太	1.0	R 2. 4 ～ R 3. 3	
26 代	高麗邊 貞 市	1.0	R 3. 4 ～ R 4. 3	
27 代	松 田 健 一	1.0	R 4. 4 ～ R 5. 3	
28 代	結 城 誠一郎		R 5. 4 ～	

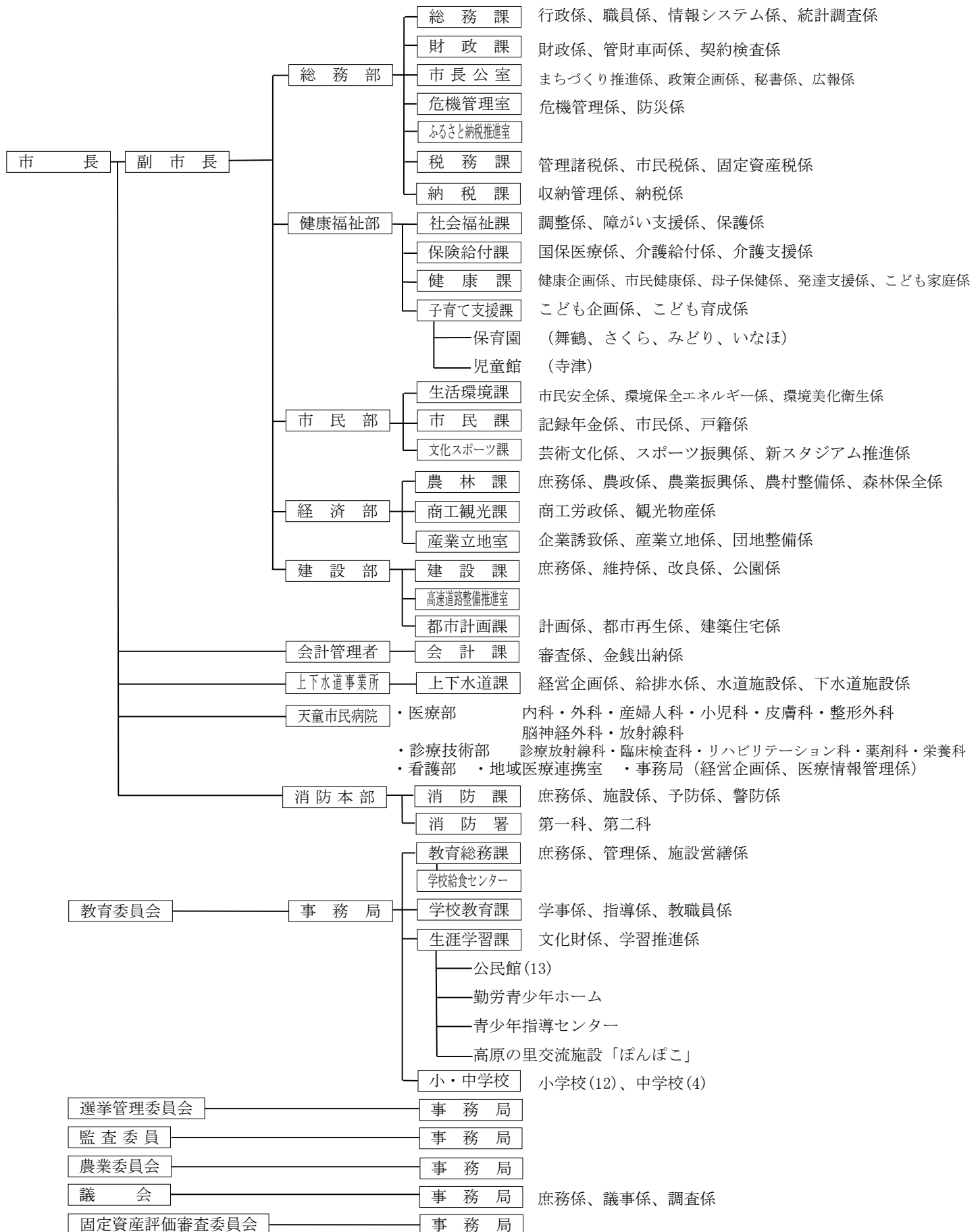
歴 代 消 防 次 長

歴 代	氏 名	在職年数	在 職 期 間	摘 要
初 代	佐 藤 茂	2.3	S 44. 9 ～ S 46. 12	非常勤
2 代	伊 藤 正 雄	1.0	H 19. 4 ～ H 20. 3	H18. 4～ (兼)消防署長
3 代	長 岡 清	1.0	H 20. 4 ～ H 21. 3	
4 代	高麗邊 貞 市		R 4. 4 ～	

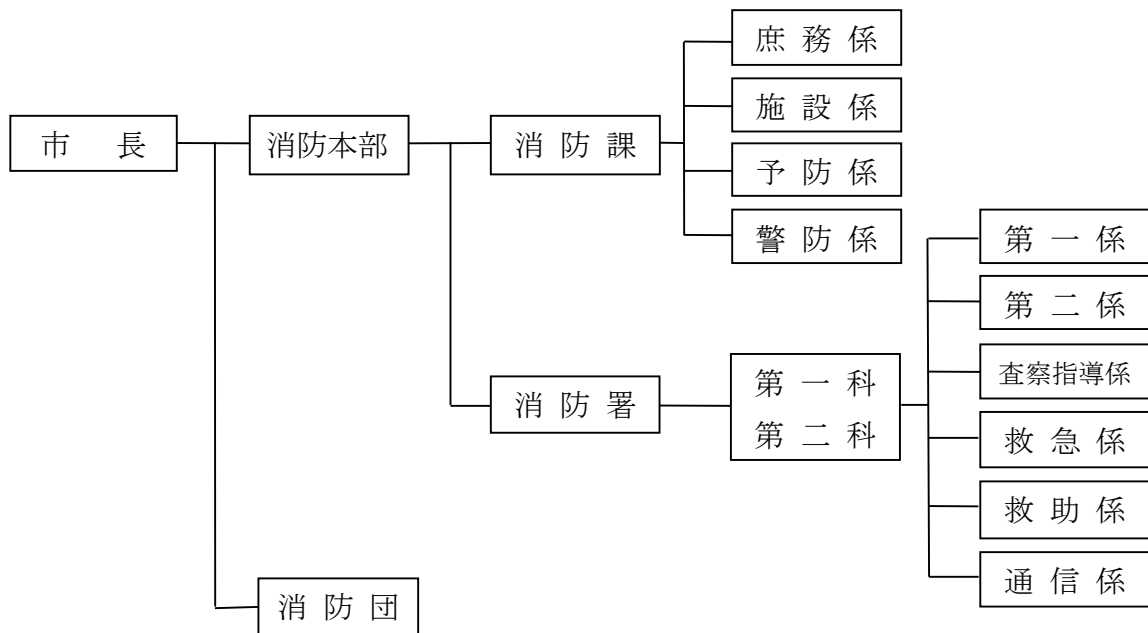
歴 代 消 防 署 長

歴 代	氏 名	在職年数	在 職 期 間	摘 要
初 代	梅 津 貢	5.0	S 31. 4 ～ S 36. 3	
2 代	佐 藤 茂	5.7	S 36. 4 ～ S 41. 11	(兼)庶務課長 S39. 4. 1～
3 代	長谷川 吾 一	5.9	S 41. 12 ～ S 47. 10	S45. 7. 1～総務課長に変更
4 代	篠 原 盛 男	2.5	S 47. 11 ～ S 50. 6	
5 代	後 藤 善次郎	0.7	S 50. 7 ～ S 51. 1	
6 代	工 藤 英 基	1.2	S 51. 2 ～ S 52. 3	
7 代	津 藤 権 七	1.0	S 52. 4 ～ S 53. 3	
8 代	大 沼 弘太郎	2.0	S 53. 4 ～ S 55. 3	
9 代	篠 原 盛 男	2.0	S 55. 4 ～ S 57. 3	消防長(兼)消防署長
10 代	結 城 和 郎	7.0	S 57. 4 ～ H 元. 3	(兼)総務課長
11 代	三 瓶 英 祐	6.0	H 元. 4 ～ H 7. 3	(兼)総務課長
12 代	手 塚 稔	1.0	H 7. 4 ～ H 8. 3	
13 代	鈴 木 芳 孝	1.0	H 8. 4 ～ H 9. 3	
14 代	近 野 昭 一	5.0	H 9. 4 ～ H 14. 3	
15 代	庄 司 征 夫	3.0	H 14. 4 ～ H 17. 3	
16 代	安 喰 順 一	1.0	H 17. 4 ～ H 18. 3	
17 代	伊 藤 正 雄	2.0	H 18. 4 ～ H 20. 3	
18 代	三 瓶 幸 雄	2.0	H 20. 4 ～ H 22. 3	
19 代	三 浦 正 行	3.0	H 22. 4 ～ H 25. 3	
20 代	工 藤 仁	2.0	H 25. 4 ～ H 27. 3	
21 代	佐 藤 光 則	3.0	H 27. 4 ～ H 30. 3	
22 代	原 田 啓 之	2.0	H 30. 4 ～ R 2. 3	
23 代	瀬 野 充	2.0	R 2. 4 ～ R 4. 3	
24 代	小 澤 亘		R 4. 4 ～	

天童市行政組織機構図



消 防 の 組 織 機 構 図



消 防 職 員 配 置 状 況

令和 6 年 4 月 1 日

階級別 所屬別		合 計	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	
消 防 本 部	消 防 長	1	1						
	消防次長	1		1					
	消 防 課	消防課長	1		1				
		庶 務 係	3		1	1	1		
		施 設 係	1		1				
		予 防 係	3		1		2		
		警 防 係	1		1				
		課 付	1			1			
		小 計	12	1	6	2	3		
	消 防 署	消防署長	1		1				
		第 一 科	28		8	3	7	5	5
		第 二 科	28		7	4	9	3	5
		小 計	57		16	7	16	8	10
合 計		69	1	22	9	19	8	10	

消 防 本 部 の 分 掌 事 務

1 庶 務 係

- (1) 消防本部の組織及び運営に関すること。
- (2) 予算及び決算に関すること。
- (3) 職（団）員の任免、給与、服務、分限、懲戒等の事務に関すること。
- (4) 職（団）員の福利、厚生及び公務災害に関すること。
- (5) 職（団）員等の報償及び表彰に関すること。
- (6) 公印の保管に関すること。
- (7) 職員等の被服貸与に関すること。
- (8) 文書及び物品の収受発送に関すること。
- (9) 消防団に関すること。
- (10) 消防審議会に関すること。
- (11) 他の係の所掌に属しないこと。

2 施 設 係

- (1) 消防施設の整備計画に関すること。
- (2) 消防施設の維持管理に関すること。
- (3) 通信施設の整備保全に関すること。
- (4) 消防機械及び器具の整備保全に関すること。
- (5) その他消防施設及び装備に関すること。

3 予 防 係

- (1) 建築物の建築確認申請に伴う消防同意事務に関すること。
- (2) 危険物施設の許認可、指導等に関すること。
- (3) 消防用設備等の設置届の検査指導に関すること。
- (4) 危険物の保安に関すること。
- (5) 火災予防計画及び普及宣伝に関すること。
- (6) 火災の調査及び危険物に係る流出等の事故の原因の調査に関すること。
- (7) 火災報告に関すること。
- (8) 消防用設備点検報告の届出に対する審査及び指導に関すること。
- (9) 防火対象物の定期点検報告制度に伴う立入調査及び指導に関すること。
- (10) 火薬類（煙火に限る。）の規制に関すること。
- (11) 液化石油ガスの規制に関すること。
- (12) その他火災の予防に関すること。

4 警 防 係

- (1) 消防計画及び訓練に関すること。
- (2) 水防計画及び訓練に関すること。
- (3) 火災警報発令に関すること。
- (4) 気象情報の収集連絡に関すること。
- (5) 災害情報の収受連絡に関すること。
- (6) 職（団）員の教養訓練に関すること。
- (7) その他警防に関すること。

消 防 署 の 所 掌 事 務

- (1) 火災の予防、警戒及び防ぎよに関すること。
- (2) 消防対象物の立入検査及び指導に関すること。
- (3) 機械器具の手入れ及び保管に関すること。
- (4) 消防水利の調査及び確保に関すること。
- (5) 危険物の規制に関すること。
- (6) 消防操法訓練の指導に関すること。
- (7) 気象観測及び通報に関すること。
- (8) 救急活動に関すること。
- (9) 救急統計に関すること。
- (10) 救急知識の普及指導に関すること。
- (11) 救急情報に関すること。
- (12) 救助業務に関すること。
- (13) 救助資機材の管理に関すること。
- (14) 消防通信及び一般連絡に関すること。
- (15) 無線通信に関すること。
- (16) 通信指令情報の管理及び運用に関すること。
- (17) その他消防、救急、救助及び通信等消防業務に関すること。

消 防 予 算

1 消防費予算（当初）の年度別比較

（単位：千円）

区 分 年度別	一 般 会計予算 A	消防費 B	比 較 (%) $\frac{B}{A} \times 100$	消 防 費 内 訳		
				常 備 消 防 費	非 常 備 消 防 費	消 防 施 設 費
令和2年度	26,280,000	751,635	2.86	557,218	119,028	75,389
令和3年度	26,130,000	740,406	2.83	584,400	101,101	54,905
令和4年度	27,930,000	814,316	2.92	621,799	108,945	83,572
令和5年度	27,780,000	944,448	2.94	765,463	122,559	56,426
令和6年度	30,010,000	1,104,308	2.71	853,651	154,158	96,499

2 市民一人・世帯当りの消防予算

（単位：円）

区 分 年度別	消 防 費	人 口 (人)	一人当りの 消 防 費	世帯数 (世帯)	一世帯当りの 消 防 費
令和2年度	751,635,000	61,920	12,139	22,494	33,415
令和3年度	740,406,000	61,735	11,993	22,681	32,644
令和4年度	814,316,000	61,293	13,286	22,731	35,824
令和5年度	944,448,000	60,810	15,531	22,892	41,257
令和6年度	1,104,308,000	60,401	18,283	23,065	47,878

※ 人口・世帯数は、3月31日現在

消防職員年齢及び階級別職員数

令和6年4月1日現在

階 級 年 齢	合 計	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
20 歳 未 満	3						3
20 歳 ～ 24 歳	7						7
25 歳 ～ 29 歳	13				5	8	
30 歳 ～ 34 歳	17			3	14		
35 歳 ～ 39 歳	3			3			
40 歳 ～ 44 歳	4		1	3			
45 歳 ～ 49 歳	8		8				
50 歳 ～ 54 歳	9		9				
55 歳 以 上	5	1	4				
合 計	69	1	22	9	19	8	10
平 均 年 齢	36.4						

消防職員の階級別勤続年数

令和6年4月1日現在

階 級 年 数	合 計	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
5 年 未 満	11	1	1			1	8
5 年～ 9 年	16				7	7	2
10 年～14 年	13			1	12		
15 年～19 年	7		1	6			
20 年～24 年	4		2	2			
25 年～29 年	6		6				
30 年～34 年	6		6				
35 年 以 上	6		6				
合 計	69	1	22	9	19	8	10
平均勤続年数	15.6						

消防力の整備指針に関する概要

消防本部・署所の人員

令和6年4月1日現在

			算定台数 (台)	算定台数 等に対する人員の 算定数 (人)	整備台数 (非常用 を除く) (台)	整備台数 等に対する人員の 算定数 (人)	現員数 (人)			
警 防 要 員	指揮隊員	指 揮 車	1	12	1	12				
	消防隊員	消防ポンプ自動車	4	60	2	30				
		はしご自動車	1		1					
		化学消防車	1		1					
		特殊車等	小型動力ポンプ付 水槽車	1		1				
			資機材搬送車	1		1				
			人員搬送車	1		1				
	救急隊員	救急自動車	4	36	4	36				
	救助隊員	救助工作車	1	15	1	15				
	小 計		15	123	①	13	93	⑤	47	⑨
通 信 員			5	②		5	⑥	6	⑩	
予 防 要 員			27			27		3		
	うち専任の予防要員			24	③		24	⑦	3	⑪
庶務等の処理人員			8	④		8	⑧	13	⑫	
合 計		15	160	ア	13	130	イ	69	ウ	

※ ア＝①＋②＋③＋④、 イ＝⑤＋⑥＋⑦＋⑧、 ウ＝⑨＋⑩＋⑪＋⑫

	算定台数等 に対する人員の 算定数 (人) ア	整備台数等 に対する人員の 算定数 (人) イ	現員数 (人) ウ	算定台数等の 算定数に対す る充足率 (%) ウ/ア×100	整備台数等の 算定数に対す る充足率 (%) ウ/イ×100
消 防 吏 員	160	130	69	43.1	53.0

消 防 職 員 消 防 学 校 等 入 校 調

年度別 科 目	合 計	消 防 大 学 校 等								山 形 県 消 防 学 校															安全運転中央研修	
		幹 部 科	救 助 科	予 防 科	警 防 科	火 災 調 査 科	自主防災組織育成コース	救 急 救 命 士	指 導 救 命 士	初 任 科	警 防 科	特 殊 災 害 科	救 助 科	予 防 科	予 防 査 察 科	危 険 物 科	火 災 調 査 科	救 急 科 （Ⅰ課程）	救 急 科 （Ⅱ課程）	救 急 科 （標準課程）	救 命 士 追 加 講 習	救 命 士 再 教 育 講 習	初 級 幹 部 科	幹 部 科		梯子自動車操作科
平成 24 年度以前	133		1					10		37	1	1	9	2	3	2	2	1	1	29	4	16	3	1	7	2
平 成 25 年 度	12			1						4		1	1				1			2		2				
平 成 26 年 度	16						1	1		3	1		1			1				2	4	2				
平 成 27 年 度	18						1		1	3			2		1					1	7	2				
平 成 28 年 度	13				1		1	1		2	1	1	2				1			2					1	
平 成 29 年 度	13					1			1	4		1	1		1	1				1		2				
平 成 30 年 度	14				1			1		3	1		2				1			2		2		1		
令 和 元 年 度	14		1						1	4		1	2							2	1				2	
令 和 2 年 度	11							1		2			2				1			3		2				
令 和 3 年 度	11			1						2	1		2		1					3				1		
令 和 4 年 度	15		1							1	2		2				1			2		2			2	2
令 和 5 年 度	15	1							1	1	2		2		1					2		1				4
合 計	285	1	3	2	2	1	3	14	4	66	9	5	28	2	7	4	7	1	1	51	16	31	3	3	12	8

※救命士再教育講習については延べ人数

消 防 職 員 教 育 実 施 状 況

階 級 学校科別等		合 計	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
消 防 大 学 校 等	幹 部 科	1		1				
	救 助 科	3		2	1			
	予 防 科	2		2				
	警 防 科	2		1	1			
	火 災 調 査 科	1		1				
	自主防災組織育成コース	3		3				
	救 急 救 命 士	14		10	3	1		
	指 導 救 命 士	4		4				
山 形 県 消 防 学 校	初 任 科	66		21	8	19	8	10
	警 防 科	9		5	2	2		
	特 殊 災 害 科	5		3	2			
	救 助 科	28		8	7	10	3	
	予 防 科	2		2				
	予 防 査 察 科	7		3		4		
	危 険 物 科	4		2	1	1		
	火 災 調 査 科	7		2	4	1		
	救急科(Ⅰ課程)	1		1				
	救急科(Ⅱ課程)	1		1				
	救急科(標準課程)	51		21	8	12	6	4
	救命士追加講習	16		10	2	4		
	救命士再教育講習	18		10	4	4		
	初 級 幹 部 科	3		3				
	幹 部 科	3		3				
	梯子自動車操作科	12		7	2	3		
安全運転中央研修		8		2		6		

消防職員特殊技能資格取得状況

階 級 種 別		合 計	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士
運転免許	大型Ⅰ種	52		21	9	19	3	
	大型Ⅱ種	4		3	1			
	普通Ⅰ種	69	1	22	9	19	8	10
	普通Ⅱ種	4		3	1			
	大型特殊	12		12				
	自動二輪	36		18	3	10	2	3
整備免許	シャーシ	1		1				
無線免許	特殊(電話)	59		20	9	19	8	3
	アマチュア	4		4				
危険物取扱者(乙種)		58		18	9	19	7	5
消防設備士(乙種)		3		2		1		
小型船舶操縦士		30		10	9	9	2	
ガス溶接講習修了		2		2				
ボイラー技師		1		1				
移動式クレーン免許		44		20	9	12	3	
玉掛技能		35		13	9	12	1	
衛生管理者		4		2	1	1		
酸素欠乏危険作業主任者		29		10	9	10		
特定化学物質等作業主任者		15		4	5	6		
有機溶剤等作業主任者		14		10	3	1		

消防施設・機械器具

消 防 庁 舎 の 概 要

施設の規模及び構造

1 敷 地 面 積 5,912.84 m²

2 庁 舎

構 造 鉄筋コンクリート造 一部2階建

面 積 延床面積 1,708.59 m²

1階床面積 1,041.95 m²

玄関ホール・車庫・仮眠室・女子室・待機室兼食堂・乾燥室
機械室・浴室・洗面所・便所・倉庫

2階床面積 666.64 m²

事務室・消防長室・消防団本部室・災害対策室兼会議室
消防指令センター・通信機械室・印刷室・便所・更衣室
仮眠室

3 訓 練 塔

構 造 鉄筋コンクリート造

(1) A 塔(主 塔) 高 さ 16m 5階建
延面積 147.34 m² (5.2m×5.2m)

(2) B 塔(補助塔) 高 さ 7.0m 2階建
延面積 54.08 m² (5.2m×5.2m)

(3) そ の 他

ホース乾燥設備(A塔東面)・電気設備・排水設備
スプリンクラー実験設備・連結送水管設備

4 水 防 倉 庫

構 造 軽量鉄骨ブレース構造

延面積 59.54 m² (5.475m×10.875m)

5 倉 庫

構 造 鉄骨造

延面積 145.95 m² (9.175m×12.815m)

6 施 設

- (1) 消防緊急情報施設
- (2) 緊急自動車出動表示施設
- (3) 電光掲示板告知板
- (4) 無線統制塔 庁舎屋上鉄骨造
- (5) 非常電源設備
- (6) 太陽光発電・蓄電設備
- (7) 防火水槽 1基 (120 m³)
- (8) 消 火 栓 2基

消防本部・署車両の現有状況

	車 両 区 分	登録年月、車名	級別	経過 年数	ポンプ製作所 納入メーカー	備 考
消 防 本 部	訓練指導車	H18年 8月 マツダタイタン	2000cc	17年	(株)東北マツダ	(寄)宝くじ協会
	指揮隊車	R 2年 12月 トヨタランドクル ーザープラド	2690cc	3年	山形トヨタ自動車(株)	一般単独事業
	防災広報車	H26年 2月 トヨタハイエース	2690cc	10年	山形トヨペット(株)	社会資本整備総合 交付金
	消防ポンプ 自 動 車	H21年 11月 日野デュトロ	CD-I 型 A-2 級	14年	(株)モリタ (株)長谷川ポンプ	地域活性化事業
	水 槽 付 ポ ン プ 車	H21年 2月 日野レンジャー	Ⅱ 型 A-2 級	15年	(株)モリタ (株)長谷川ポンプ	緊急消防援助隊設備 整備費補助事業
	化 学 消 防 ポ ン プ 車	H31年 1月 日野レンジャー	Ⅱ 型 A-2 級	5年	(株)モリタ (株)長谷川ポンプ	一般単独事業
	は し ご 車	H23年 3月 日野・モリタMH-II	35m級	13年	(株)モリタ (株)長谷川ポンプ	一般単独事業
	救助工作車	H18年 10月 日野レンジャー	Ⅱ 型 6400cc	17年	帝 国 繊 維 (株)	緊急消防援助隊設備 整備費補助事業
	小型動力ポン プ付水槽車	H14年 12月 いすゞフワード	10 m ³ B-2 級	21年	(株)長谷川ポンプ	超高压噴霧消火装置 自動混合消火装置
	救 1 号 急 車	R4年 11月 トヨタハイメディック	2693 cc	1年	山形トヨタ自動車(株)	(寄)日本損害保険協会
	救 2 号 急 車	R3年 10月 トヨタハイメディック	2693cc	2年	山形トヨタ自動車(株)	一般単独事業
	救 3 号 急 車	R1年 12月 トヨタハイメディック	2693cc	4年	山形トヨタ自動車(株)	一般単独事業
	救 4 号 急 車	H25年 2月 トヨタハイメディック	2693cc	11年	山形トヨタ自動車(株)	社会資本整備 総合交付金
	救 5 号 急 車	H20年 1月 トヨタハイメディック	2693cc	16年	山形トヨタ自動車(株)	施設整備事業（一般財源 化分）・一般単独事業
	救助支援車	H 7年 8月 三菱ふそうファイター	7540cc	28年	太 平 興 業 (株)	一般単独事業
	災害搬送車	H22年 1月 トヨタコースター	4000cc	14年	山形トヨタ自動車(株)	地域活性化事業
	火 災 原 因 調 査 車	R1年 12月 トヨタハイエース	2693cc	4年	山形トヨタ自動車(株)	一般単独事業
	災 害 情 報 収 集 車	R3年 9月 ダイハツハイゼットカーゴ	650 cc	2年	(株)カーサービス山形 カーサ・ドルチェ天童店	一般単独事業

救助隊等装備資器材

分 類	品 名	数 量
一般救助用器具	かぎ付はしご	5
	三連はしご	6
	金属製折りたたみはしご又はワイヤはしご	2
	空気式救助マット	2
	救命索発射銃	3
	サバイバースリング又は救助用縛帯	1 0
	平坦架	2
	ロープ	※
	カラビナ	1 3 3
	滑車	1 5
重量物排除用器具	油圧ジャッキ	1
	油圧スプレッダー	0
	可搬ウィンチ	3
	ワイヤーロープ	1 2
	マンホール救助器具	2
	救助用簡易機重機	0
切断用器具	油圧切断機	1
	エンジンカッター	5
	ガス溶断器	1
	チェーンソー	5
	鉄線カッター	6
破壊用器具	万能斧	2 4
	ハンマー	6
	携帯用コンクリート破壊器具	2
検知・測定用器具	生物剤検知器	0
	化学剤検知器	0
	可燃性ガス測定器	3
	有毒ガス測定器	1
	酸素濃度測定器	3
	放射線測定器	4
呼吸保護用器具	空気呼吸器	2 5
	空気補充用ボンベ	0

※1 巻200mを適宜切断

分 類	品 名	数 量
隊員保護用器具	革手袋	4 4
	耐電手袋	7
	安全帯	1 5
	防塵メガネ	1 5
	携帯警報器	2 5
	防毒マスク	2 4
	化学防護服（陽圧式化学防護服を除く）	2 8
	陽圧式化学防護服	3
	耐熱服	2
	放射線防護服（個人用線量計を含む。）	0
検知用器具	簡易画像探索機	1
除染用器具	除染シャワー	1
	除染剤散布器	0
水難救助用器具	潜水器具一式	0
	流水救助器具一式	2
	救命胴衣	4 4
	水中投光器	0
	救命浮環	9
	浮標	0
	救命ボート	3
	船外機	3
	水中スクーター	0
	水中無線機	0
	水中時計	0
	水中テレビカメラ	0
山岳救助用器具	登山器具一式	0
	バスケット担架	5
その他の救助器具	投光器一式（投光器本体、三脚、電源ケーブル、発電機等）	6
	携帯投光器	3 8
	携帯拡声器	1 2
	携帯無線機	3 9
	応急処置用セット	5
	車両移動器具	1
	その他の携帯救助工具	4 2

分 類	品 名	数 量
重量物排除用器具	マット型空気ジャッキ式	2
	大型油圧スプレッダー	3
	救助用支柱器具	0
	チェーンブロック	0
切断用器具	空気鋸	2
	大型油圧切断機	3
	空気切断機	0
	コンクリート鉄筋切断用チェーンソー	0
破壊用器具	削岩機	2
	ハンマドリル	2
呼吸器用器具	酸素呼吸器(予備ボンベを含む。)	0
	簡易呼吸器	0
	防塵マスク	5 6
	送排風機	2
	エアラインマスク	0
隊員保護用器具	耐電衣	6
	耐電ズボン	6
	耐電長靴	6
	特殊ヘルメット	0
その他の救助用器具	緩降機	2
	ロープ登降機	7
	救助用降下機	0
	発電機	8

分 類	品 名	数 量
高度救助用器具	画像探索機	1
	地中音響探知機	0
	熱画像直視装置	4
	夜間用暗視装置	1
	地震警報器	0
	電磁波探査装置	0
	二酸化炭素探査装置	0
	水中探査装置	0
	検知型遠隔探査装置	0

地区別消防水利設置状況

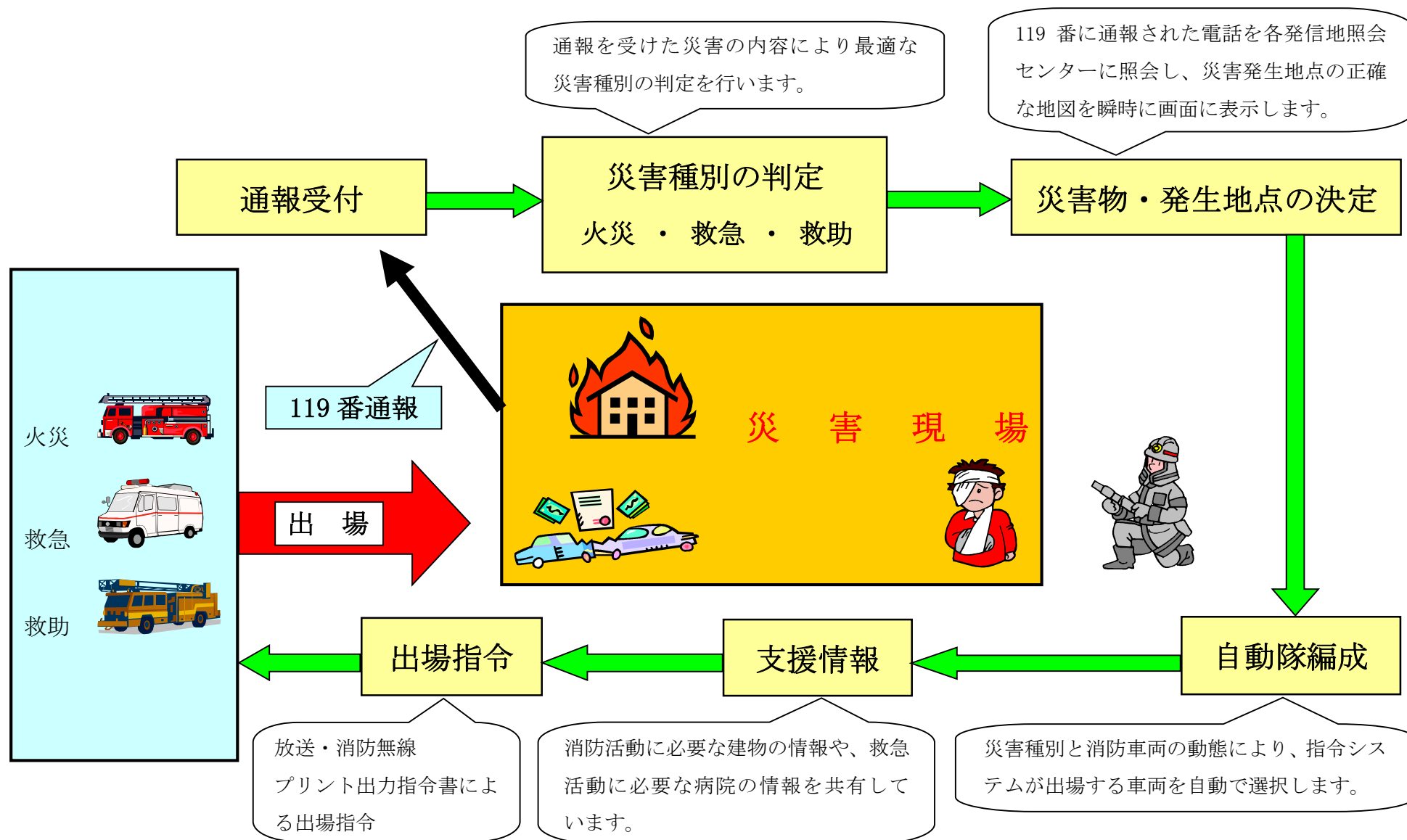
令和6年4月1日現在

区 分		合 計	天童 中部	天童 南部	天童 北部	成 生	蔵 増	寺 津	津 山	田 麦 野	山 口	高 橋	長 岡	干 布	荒 谷
公設消火栓	50mm 以下	2			1		1								
	75mm	326	73	34	33	31	28	4	12	3	27	20	32	10	19
	100mm	592	84	80	43	37	38	18	60	15	44	43	66	44	20
	150mm	370	32	52	23	45	14	8	31		33	29	56	23	24
	200mm	139	11	28	6	6	16	7	16		21	13	10	4	1
	250mm	20	3	3			2		3				9		
	300mm 以上	8	2	1	1				1			2		1	
	不明	1							1						
	小 計	1,458	205	198	107	119	99	37	124	18	125	107	173	82	64
私設	小 計	7	1	1			2		2					1	
公設防火水槽	20 m³未満	17	1						2	1	1	1		11	
	20 m³以上 40 m³未満	58	5	3	3	5	3	3	2	2	12	5		9	6
	40 m³以上 60 m³未満	400	33	31	19	37	36	20	40	10	64	48	15	34	13
	60 m³以上 100 m³未満	10		1	1			1			3	3			1
	100 m³以上	18	6	1	1				4		1		5		
	小 計	503	45	36	24	42	39	24	48	13	81	57	20	54	20
私設	40 m³以上 60 m³未満	6		1	2							1	2		
	60 m³以上 100 m³未満	5		1	2								2		
	100 m³以上	7		3	1									3	
	小 計 (20 m³未満含 まない)	18		5	5							1	4	3	
その他	プール	18	2	1	2	1	2	1	1	1	1	1	1	2	2
	池・沼	5	1						2		2				
	小 計	23	3	1	2	1	2	1	3	1	3	1	1	2	2
合 計		2,009	254	241	138	162	142	62	177	32	209	166	198	142	86

通 信 施 設 等 概 要

器 名		数量	備 考
指 令 装 置	指令台Ⅰ型	2 台	単座席型、FAX119 番受信、メール 119 受信 NET119 受信、映像通報システム
	自動出動指定装置	1 式	位置情報通知システム（統合型）
	地図検索装置	1 〃	各席対応型、指令台搭載分
	長時間録音装置	1 〃	ハードディスク録音、BR-RE バックアップ
	非常用指令装置	1 〃	指令制御装置と同一キャビネット内
	指令制御装置	1 〃	二重化構成回路、自己診断機能付
	レーザープリンタ	1 台	自動出動指定装置用、災害事案処理記録用
	カラープリンタ	1 〃	地図等検索装置用
	署所端末装置	1 式	待機室装置
	地図端末装置	2 台	事務室、待機室
表 示 盤	多目的情報表示盤	2 面	46 インチ 4 面マルチディスプレイ
	災害情報表示盤	2 〃	42 インチディスプレイ、待機室用
	情報表示盤	3 〃	会議室兼災害対策室、庁舎 2 階事務室、天童市役所
無 線 装 置	遠隔制御装置	2 台	消防波 1、消防波 2、主運用波、統制波
	署活動用携帯無線機	25 台	460MHz 帯アナログ方式消防用携帯型無線機
指 令 伝 送 装 置	指令情報送信装置	1 式	制御装置、ネットワーク機器等
	指令情報出力装置	1 〃	待機室用、指令書・事案終了書用プリンタ
気象情報収集装置		1 〃	プリンタ、データロガー装置等
災害情報等自動案内装置		1 台	4 チャンネル 32 回線対応、遠隔操作機能等
順 次 指 令 装 置		1 〃	収容数 3 回線、遠隔操作機能等
音 声 合 成 装 置		1 式	規則合成方式
出動車両運用管理 装置	管理装置（親局）	1 〃	消防無線回線
	車両運用端末装置	14 台	ポンプ車、タンク車、水そう車、救助工作車、化学車、救 助支援車、はしご車、救急 1・2・3・4 号車、指揮隊車、火 災原因調査車、災害搬送車
	車外設定端末装置	14 〃	
システム監視装置		1 式	システム監視装置、データ修正装置
電 源 設 備	無停電電源装置	1 〃	停電保障 9 分間以上 消防本部用
	無停電電源装置	1 〃	停電保障 9 分間以上 署所用
	直流電源装置(48V 系)	1 〃	停電保障 6 時間以上 シール蓄電池
	非常用発動発電機	1 〃	商用電源停電時、庁舎全体のバックアップ用
拡 張 台		3 台	
現場画像伝送装置	映像送信装置（車載型）	2 台	車載型カメラ タンク車、救助工作車に車載
	映像送信装置（可搬型）	1 台	可搬型カメラ
	映像送信装置（スマホ）	2 台	スマートフォン型カメラ 中隊長、大隊長用
	受信装置	1 式	カメラコントローラー 多目的表示盤へ表示可
無 線 受 令 機		2 台	指令センター、待機室
災害事案等連携装置	災害事案連携サーバ	1 式	バックアップ装置含む
	災害連携事案クライアント	1 〃	ノートパソコン 8 台、プリンタ、スキャナ等
	各 OA システム	1 〃	各係用、統計・管理システムソフト
監視カメラ装置		1 式	監視カメラ 6 台、録画機能付き
庁舎内放送設備		1 〃	
構内電話交換設備	電話交換機	1 〃	多機能電話機 23 台、一般電話機 3 台、PHS 5 台

高機能消防指令センターによる災害通報の受付から出場までの指令業務



予

防

防 火 対 象 物

令和6年3月31日現在

			防火対象物 法第17条	防火対象物 法第8条	4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階以上	棟合計
(1)	イ	劇場等	10	9	1								1
	ロ	集会場等	102	35	1								1
(2)	イ	キャバレー等											
	ロ	遊技場等	6	4				1					1
	ハ	風俗店等											
	ニ	カラオケボックス等	2	2									
(3)	イ	料理店等											
	ロ	飲食店等	110	55									
(4)		百貨店等	165	95									
(5)	イ	旅館等	39	33	2	5	4	2	3	2	1		19
	ロ	共同住宅等	745	53	19	8	2	1	1	1			32
(6)	イ	病院等	51	13	4								4
	ロ	老人短期入所施設等	24	24	3								3
	ハ	老人デイサービス等	70	49									
	ニ	幼稚園等	7	7									
(7)		学校等	57	57	5								5
(8)		図書館等	7	4									
(9)	イ	蒸気浴場等											
	ロ	一般浴場等	2	1									
(10)		車両停車場等											
(11)		神社・寺院等	50	8									
(12)	イ	工場等	475	125	11	4	3						18
	ロ	スタジオ等											
(13)	イ	車庫等	40	7									
	ロ	特殊格納等											
(14)		倉庫	335	21									
(15)		その他事業場	400	65	5	1							6
(16)	イ	特定用途の存する場合	287	80	6	1							7
	ロ	イ以外の複合用途	104	1	1								1
(16)の2		地下街											
(16)の3		準地下街											
(17)		文化財	2	2									
(18)		アーケード											
合 計			3,090	750	58	19	9	4	4	3	1		98

消 防 用 設 備 等 設 置 現 況

令和6年3月31日現在

消防用設備等 対象物の区分			消 火 設 備					警 報 設 備				避 難 設 備		そ の 他	
			屋内消火栓設備	スプリンクラー設備	特殊消火設備	屋外消火栓設備	動力消防ポンプ設備	自動火災報知設備	漏電火災警報器	非常警報設備	火災通報装置	避難器具	誘導灯	消防用水	連結送水管
(1)	イ	劇場等	6	1				10	1	7		1	7	1	
	ロ	集会場等	14	1	1			40	23	47		10	57		
(2)	イ	キャバレー等													
	ロ	遊技場等	1	1	1			6	2	4		1	6		1
	ハ	風俗店等													
	ニ	カラオケボックス等						2					2		
(3)	イ	料理店等													
	ロ	飲食店等	4					30	8	28		9	77		
(4)		百貨店等	18	6	1	1		87	16	65		2	128		
(5)	イ	旅館等	22	3				39	20	27	25	13	39		9
	ロ	共同住宅等	5		2			69	40	12		79	16		3
(6)	イ	病院等	4	3	1			23	7	16	9	3	50		
	ロ	老人短期入所施設等	2	23				24	2	8	24	4	24		
	ハ	老人デイサービス等	6	2				44	6	7	19	3	64		
	ニ	幼稚園等						7	3			3	7		
(7)		学校等	28					48	10	12		4	15		
(8)		図書館等	2					6	2	2			5		
(9)	イ	蒸気浴場等													
	ロ	一般浴場等	1					1					2		
(10)		車両停車場等													
(11)		神社・寺院等						4	16	29	1	1	5		
(12)	イ	工場等	95		13	37	5	250	29	5		4	77	6	2
	ロ	スタジオ等													
(13)	イ	車庫等			6			7					1		
	ロ	特殊格納等													
(14)		倉庫	30			11	2	161	5	1		3	35	1	
(15)		その他事業場	23		4	3	1	81	18	58		8	70	2	1
(16)	イ	特定用途の存する場合	9	9	5			121	34	37	10	18	183	1	
	ロ	イ以外の複合用途	1			1		12	2	5	1	6	7		
(16)の2		地下街													
(16)の3		準地下街													
(17)		文化財				1		2	1	1			1		
(18)		アーケード													
合 計			271	49	34	54	8	1,074	245	371	89	172	878	11	16

各種届出受理状況

令和5年4月1日～令和6年3月31日

項 目	届 出 等 の 別	件 数
防 火 管 理 関 係	防火・防災管理者選解任届	172
	消防計画届	216
	防火対象物点検結果報告	69
消 防 用 設 備 関 係	工事整備対象設備等着工届出書	54
	消防用設備等設置届	206
	消防用設備等点検結果報告書	804
危 険 物 関 係	譲渡引渡届	2
	廃止届	8
	保安監督者選解任届	20
	品名、数量、倍数変更届	2
	予防規程制定（変更）認可申請	1
	名称等変更届	18
	軽微な変更工事届	60
液 石 等 関 係	液化石油ガス、圧縮アセチレン等の届	20
火災予防条例関係	防火対象物使用開始届	104
	少量危険物、指定可燃物貯蔵取扱届	22
	少量危険物、指定可燃物貯蔵廃止届	29
	火を使用する設備等の設置届	31
	禁止行為の解除申請	8
	火災とまぎらわしい行為の届	226
	煙火打上げ届	75
	道路工事届	103
	その他の届出	
県 委 任 事 務	液化石油ガス設備工事届	2
	煙火消費許可	
合 計		2,252

危険物製造所等施設数

令和6年3月31日現在

製造所等の別 区 分	合 計	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所			
			小 計	屋 内	屋 外 タンク	屋 内 タンク	地 下 タンク	簡 易 タンク	移 動 タンク	屋 外	小 計	給 油	販 売	一 般
5 倍以下	156		140	16	7	4	38		75		16	3		13
5 ～ 10 〃	57		46	10	5	2	27	1	1		11			11
10 ～ 50 〃	61		25	6	6		11		1	1	36	20		16
50 ～ 100 〃	28		21		2		4		15		7	6		1
100 ～ 150 〃	7		3	1	1		1				4	4		
150 ～ 200 〃	6		5		4		1				1	1		
200 ～1,000 〃	16										16	16		
合 計	331		240	33	25	6	82	1	92	1	91	50		41

危険物製造所等規制事務申請件数

令和5年4月1日～令和6年3月31日

製造所等の別 区 分		合 計	製 造 所	貯 蔵 所								取 扱 所			
				小 計	屋 内	屋 外 タンク	屋 内 タンク	地 下 タンク	簡 易 タンク	移 動 タンク	屋 外	小 計	給 油	販 売	一 般
許 可	設 置	5		4						4		1	1		
	変 更	12		7	1			1		5		5	4		1
合 計		17		11	1			1		9		6	5		1
完 成	設 置	8		6	1					5		2	2		
	変 更	12		7	1			1		5		5	4		1
合 計		20		13	2			1		10		7	6		1
仮 使 用		4		1				1				3	3		

危険物施設の推移（過去 15 年間）

毎年度 3 月 31 日現在の統計

年 度 区 分	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
製 造 所															
屋 内 貯 蔵 所	40	40	39	38	36	36	36	37	35	34	34	34	34	33	33
屋外タンク貯蔵所	29	28	27	27	27	27	27	27	26	26	26	26	25	25	25
屋内タンク貯蔵所	7	7	7	7	7	7	7	6	6	6	6	6	6	6	6
地下タンク貯蔵所	120	119	116	114	104	100	97	93	88	88	85	85	85	83	82
簡易タンク貯蔵所	4	4	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1
移動タンク貯蔵所	92	91	88	89	91	92	93	96	96	94	93	98	98	94	92
屋 外 貯 蔵 所	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
給 油 取 扱 所	59	58	57	57	57	56	56	54	54	52	52	50	48	48	50
一 般 取 扱 所	52	51	51	50	46	46	46	44	45	43	44	42	44	42	41
合 計	404	399	388	385	371	367	365	360	352	345	342	343	342	333	331

建 築 同 意

1 建築同意処理状況

区分 月別	合 計	新 築	増 築	改 築	計画変更	その他
4 月	7	5	1		1	
5 月	7	3	2		2	
6 月	9	2	7			
7 月	8	4	4			
8 月	7	3	4			
9 月	7	2	4		1	
10 月	6	3	3			
11 月	11	3	6		2	
12 月	3	1	2			
1 月	8	4	4			
2 月	6	3	1		2	
3 月	8	4	4			
合 計	87	37	42		8	

2 年度別同意処理状況

	平成 30 年	令和元年	令和 2 年	令和 3 年	令和 4 年	令和 5 年
同意件数	111	103	73	87	84	87

警

防

災害等受信状況

令和5年1月1日から令和5年12月31日まで

受信月別		月 計	受信 比率	災 害 等				そ の 他							他 消 防 転 送
				火 災	救 急	救 助	そ の 他	いた ずら	まち がい	誤 報	問 い 合 わ せ	通 報 訓 練	試 験	そ の 他	
合計		4,354		16	2,770	27	154	1	260	0	167	309	152	429	69
種別比率			100.0%	0.4%	63.6%	0.6%	3.5%	0.02%	6.0%	0.0%	3.8%	7.1%	3.5%	9.9%	1.6%
令和5年	1月	349	7.5%	3	238	1	11	1	22		13	6	7	39	8
	2月	299	6.7%	1	188	2	17		17		5	14	16	36	3
	3月	335	8.9%	2	211	1	10		24		12	21	19	32	3
	4月	315	7.7%	2	202	3	12		27		4	21	12	30	2
	5月	377	8.5%	1	223	1	14		22		19	22	16	53	6
	6月	382	8.2%	1	200	2	28		31		8	44	19	41	8
	7月	435	7.8%	1	282	2	10		35		20	31	10	39	5
	8月	456	9.2%	1	310	4	22		23		27	13	15	32	9
	9月	364	7.7%	2	233	4	13		25		19	20	5	37	6
	10月	359	8.9%	1	221	2	7		15		17	51	12	27	6
	11月	365	9.3%	1	252	1	7		9		12	38	8	34	3
	12月	318	9.5%		210	4	3		10		11	28	13	29	10

受信種別		種 別 計	受信 比率	災 害 等				そ の 他							他 消 防 転 送
				火 災	救 急	救 助	そ の 他	いた ずら	まち がい	誤 報	問 い 合 わ せ	通 報 訓 練	試 験	そ の 他	
119番通報	固定電話	851	19.5%		486		18	1	32		20	116	122	56	
	I P 電話	1,347	30.9%	1	1,064	6	21		14		33	156	1	48	3
	携帯電話	1,777	40.8%	14	1,033	14	59		214		106	35	17	219	66
一般加入電話		282	6.5%	1	127	2	40				8		1	103	
駆け付け		10	0.2%		9								1		
専用線		68	1.6%		49	5	11							3	
消防無線		7	0.2%		2		5								
その他		12	0.3%									2	10		

災害等緊急出場状況

令和5年1月1日から令和5年12月31日まで

種別 月	合 計			火 災			救 助			救 急			自 然 災 害 等												緊急消防援助隊 山形県広域応援隊 隣接管外応援		
	件数	人員	台数	件数	人員	台数	件数	人員	台数	件数	人員	台数	風 害			水 害			土 砂 災 害			その他災害			件数	人員	台数
1 月	259	860	282	3	47	13	3	42	12	251	753	251													2	18	6
2 月	207	675	220	1	21	5	3	45	12	203	609	203															
3 月	227	758	247	2	37	10	3	54	15	221	663	221	1	4	1												
4 月	220	745	241	1	31	8	5	72	19	214	642	214															
5 月	237	765	249	1	25	6	2	37	9	232	696	232													2	7	2
6 月	226	699	233				2	16	5	206	618	206	1	4	1	14	41	15	1	3	1				2	17	5
7 月	292	899	298	1	11	3	3	24	7	287	861	287				1	3	1									
8 月	332	1,040	344				5	59	17	326	978	326													1	3	1
9 月	253	811	267	1	10	3	6	63	18	246	738	246															
10 月	233	741	245				3	47	15	230	694	230															
11 月	258	815	266	1	15	4	2	26	7	255	774	255															
12 月	221	701	227				4	38	10	217	663	217															
合 計	2,965	9,509	3,119	11	197	52	41	523	146	2,888	8,689	2,888	2	8	2	15	44	16	1	3	1	0	0	0	7	45	14

その他の緊急出場状況

令和5年1月1日から令和5年12月31日まで

種別 月	合 計			危 険 排 除			緊 急 確 認			連 携						誤報・虚偽通報 誤認・いたずら			そ の 他		
										救 護			ドクターヘリ								
	件数	人員	台数	件数	人員	台数	件数	人員	台数	件数	人員	台数	件数	人員	台数	件数	人員	台数	件数	人員	台数
1 月	8	42	13	1	3	1	2	9	2	5	30	10									
2 月	17	104	33				5	31	9	12	73	24									
3 月	8	45	14	2	11	3	1	4	1	5	30	10									
4 月	13	89	26	1	4	1	5	37	10	5	30	10	1	6	2	1	12	3			
5 月	12	76	24				4	29	8	8	47	16									
6 月	9	63	20				2	14	4	6	37	12				1	12	4			
7 月	9	61	18	1	3	1	5	40	11	3	18	6									
8 月	25	153	44	4	14	4	9	63	17	10	62	19	1	3	1	1	11	3			
9 月	13	104	31	2	29	8	4	24	7	6	40	13				1	11	3			
1 0 月	8	59	19				5	31	9	2	16	5				1	12	5			
1 1 月	7	53	14	1	4	1	2	21	6	2	19	4	2	9	3						
1 2 月	3	21	6				1	3	1	2	18	5									
合 計	132	870	262	12	68	19	45	306	85	66	420	134	4	18	6	5	58	18	0	0	0

※危険排除とは、電気、ガス、危険物、毒劇物、放射性物質、火気取扱、異臭等での火災の発生防止及び人的被害の軽減、危険の除去などの消防活動

※緊急確認とは、自動火災報知設備の作動、非常ベル鳴動、怪煙偵察等の緊急を要する現場確認

※連携とは、消火隊、救助隊等が救急現場に出場し、救急隊、ドクターヘリ等と連携して救護、安全管理を行う消防活動

その他の出場状況（消防団）

令和5年1月1日から令和5年12月31日まで

種別	演 習 ・ 訓 練 等			広 報 ・ 指 導			特 別 警 戒 (災害・年末年始等)			そ の 他 (規律・放水・操法訓練等)		
実 施 内 容	消防出初式（1月8日） 人員 336人 車両 32台			火災予防広報 各分団 ①月2回実施			年末年始特別警戒 ①各分団2回(年末・年始)			初任団員規律訓練 件数 1件 人員 69人 車両 0台		
	春季消防演習（4月23日） 件数 1件 人員 951人 車両 40台			②1回あたり 5人 ③自動車・積載車 45台			②自動車・積載車 45台 件 数 26件			演習のための小隊・操法訓練 なし		
	林野火災防ぎょ訓練（5月21日） 件数 1件 人員 134人 車両 9台			件 数 1,124件 人 員 6,386人			人 員 607人 車 両 77台			操法訓練 なし		
	山形県・天童市合同総合防災訓練（9月10日） 件数 1件 人員 81人 車両 6台			車 両 833台			災害・行事等の特別警戒 件 数 5件			消防団機関員養成講習 件数 6件 人員 164人 車両 67台		
	消防団秋季火災防ぎょ訓練			指導			人 員 87人 車 両 23台			消防団危険予知訓練 件数 1件 人員 25人 車両 0台		
	2分団	127人	8台	件 数	14件					その他 件 数 3件 人 員 68人 車 両 3台		
	3分団	50人	8台	人 員	91人							
	4分団	26人	3台	車 両	14台							
	5分団	55人	6台									
	6分団	11人	4台									
	7分団	110人	7台									
	8分団	80人	7台									
	9分団	50人	5台									
	10分団	34人	3台									
	11分団	49人	2台									
			計10個分団									
	10件	592人	53台									
合計	14件	2094人	140台	1,138件	6,477人	847台	31件	694人	100台	11件	326人	70台

訓練実施状況

令和5年1月1日から令和5年12月31日まで

種別 月	合 計		火災防ぎょ練		救助訓練		救急訓練		機関員養成訓練		はしご車運用訓練		走行訓練		水防訓練		教 養		その他訓練	
	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員	回数	人員
1月	48	210	3	28	19	86	3	10	3	7	1	8	17	50					2	21
2月	53	250	4	48	23	93	11	55					13	42					2	12
3月	52	298	4	59	24	135	6	29	4	33			14	42						
4月	66	428	13	143	20	173	3	14	9	28	1	7	19	60					1	3
5月	63	526	10	106	32	308	2	19	3	11			9	25			1	9	6	48
6月	51	345	6	52	28	170	2	17	2	16			5	12			3	38	5	40
7月	38	160	4	22	14	46	2	15	5	27			10	28			2	20	1	2
8月	34	154	7	29	11	47	3	7	3	10			5	15			2	23	3	23
9月	36	212	6	40	12	82			6	29			7	23					5	38
10月	63	334	8	61	15	87	5	21	17	66			4	13			4	52	10	34
11月	34	281	10	104	11	82			6	26			1	3			2	26	4	40
12月	37	335	10	123	13	104			5	33			3	9			3	25	3	41
合 計	575	3,533	85	815	222	1,413	37	187	63	286	2	15	107	322	0	0	17	193	42	302

防火対象物等消防訓練実施状況

令和5年1月1日から令和5年12月31日まで

	消防法施行令別表第一区分別訓練実施数																					自主防災会 町内会等訓練			見 学			合 計					
	(一) イ・ロ			(四)			(五) イ			(六) イ			(六) ロ・ハ・ニ			(七)			(十二) イ												左記以外の 防火対象物		
	集 会 場			百 貨 店			旅 館			病 院			保 育 園			工 場																	
	集会場含む			マーケッ						福祉施設			学 校																				
	件数	参加者	指導員	件数	参加者	指導員	件数	参加者	指導員	件数	参加者	指導員	件数	参加者	指導員	件数	参加者	指導員	件数	参加者	指導員	件数	参加者	指導員	件数	参加者	指導員	件数	参加者	指導員			
1 月	1	3	0	3	52	0	0	0	0	0	0	1	15	1	1	146	0	1	70	0	6	130	0	0	0	0	0	0	13	416	1		
2 月	2	6	0	11	128	0	1	4	0	0	0	7	498	0	0	0	0	0	0	6	37	1	0	0	0	2	8	9	29	681	10		
3 月	6	27	0	4	67	0	1	8	0	1	40	0	14	436	0	3	100	0	1	100	0	13	361	0	0	0	0	0	43	1,139	0		
4 月	2	46	2	6	37	0	2	14	0	6	261	0	4	102	1	9	2,566	12	2	369	0	17	335	5	0	0	0	48	3,730	20			
5 月	2	14	0	5	80	0	3	16	0	2	15	0	12	393	4	0	0	0	2	176	2	8	385	4	1	30	2	37	1,164	26			
6 月	7	70	0	6	135	0	2	13	0	2	215	0	17	844	12	1	636	2	4	245	1	20	631	14	2	160	4	69	3,224	71			
7 月	3	3	0	9	154	2	4	54	2	2	27	0	17	959	16	0	0	0	6	279	8	8	285	3	6	235	8	55	1,996	39			
8 月	0	0	0	5	31	4	2	21	0	0	0	0	4	155	1	0	0	0	2	225	2	8	554	10	2	129	0	24	1,135	26			
9 月	3	124	1	7	42	0	1	15	0	0	0	0	17	972	15	0	0	0	3	475	0	9	67	0	6	200	5	47	1,925	32			
1 0 月	2	45	0	7	52	1	4	25	0	2	135	5	23	1,098	27	3	1,114	4	15	2,150	19	19	576	5	5	350	12	90	5,857	153			
1 1 月	1	3	0	9	164	4	4	64	4	4	106	2	18	606	17	1	369	0	5	1,070	4	15	439	4	5	404	6	72	3,618	108			
1 2 月	11	124	7	4	45	0	3	119	2	2	205	2	6	107	1	0	0	0	3	207	2	9	182	3	0	0	0	39	1,010	22			
合 計	40	465	10	76	987	11	27	353	8	21	1,004	9	140	6,185	95	18	4,931	18	44	5,366	38	138	3,982	49	27	1,508	37	566	25,895	508			

*各施設独自の自主訓練等も含む

災害等出場状況（消防団）

令和5年1月1日から令和5年12月31日まで

種別 月	合 計			火 災			管外応援火災			自 然 災 害 等									そ の 他 (非火災・誤報等)		
										風 害			水 害			土砂災害					
	件数	人 員	台数	件数	人 員	台数	件数	人 員	台数	件数	人 員	台数	件数	人 員	台数	件数	人 員	台数	件数	人 員	台数
1 月	2	79	15	2	79	15															
2 月	1	104	22	1	104	22															
3 月	2	70	13	2	70	13															
4 月	3	216	39	1	183	32	1	3	1										1	30	6
5 月	1	45	10	1	45	10															
6 月	3	58	10										2	34	5				1	24	5
7 月	1	63	14	1	63	14															
8 月	1	149	26																1	149	26
9 月	3	69	17	1	49	14							1	2	0				1	18	3
1 0 月	1	7	2																1	7	2
1 1 月	1	29	9	1	29	9															
1 2 月	0	0	0																		
合 計	19	889	177	10	622	129	1	3	1				3	36	5				5	228	42

降 雪 ・ 積 雪 記 録

観測年・・・当該年の降雪初期から翌年降雪終期まで(寒候期)

単位・・・c m

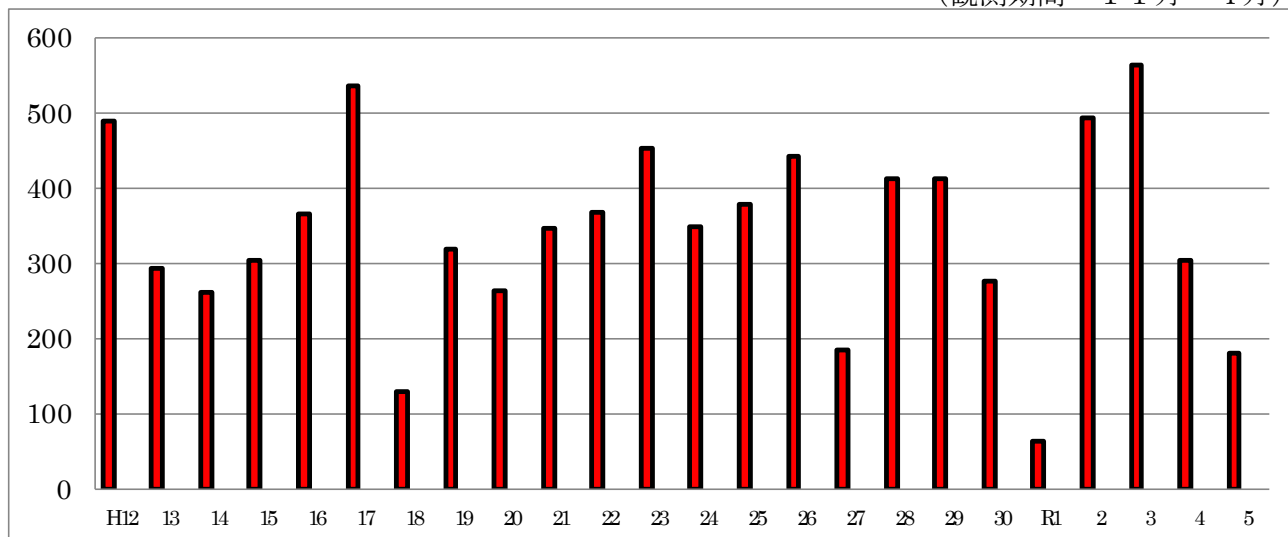
年 度	累 積 降雪量	最 高		最 高		初 雪		最 終		観測場所
		記録日	降雪量	記録日	積雪深	記録日	降雪量	記録日	降雪量	
平成 12 年	489.0	13. 1. 9	31	13. 1. 9	72	12. 11. 29	0	13. 4. 1	0	貫津 2512
平成 13 年	293.0	13. 12. 15	32	13. 12. 17	51	13. 11. 26	0	14. 3. 8	1	〃
平成 14 年	262.0	15. 1. 30	46	15. 1. 31	72	14. 11. 6	0	15. 3. 21	2	〃
平成 15 年	305.0	16. 1. 23	40	16. 2. 8	57	15. 12. 4	0	16. 4. 25	1	〃
平成 16 年	366.0	17. 1. 22	30	16. 2. 5	68	16. 11. 30	0	17. 4. 2	0	〃
平成 17 年	535.0	17. 12. 31	53	18. 1. 4	82	17. 11. 19	0	18. 4. 21	0	桜町 2-1
平成 18 年	130.0	19. 1. 9	20	19. 1. 9	22	18. 11. 12	0	19. 4. 5	0	〃
平成 19 年	318.0	20. 1. 25	29	20. 1. 25	33	19. 11. 18	0	20. 3. 8	0	〃
平成 20 年	264.0	20. 12. 28	20	20. 12. 28	30	20. 11. 19	0	21. 3. 29	0	〃
平成 21 年	347.0	21. 12. 20	30	21. 12. 20	40	21. 11. 3	0	22. 4. 17	0	〃
平成 22 年	368.0	23. 2. 1	27	23. 2. 1	65	22. 12. 14	0	23. 3. 31	6	〃
平成 23 年	452.0	24. 2. 2	33	24. 2. 5	83	23. 11. 16	0	24. 4. 8	0	〃
平成 24 年	348.0	25. 1. 15	36	25. 2. 26	55	24. 11. 21	0	25. 4. 21	0	〃
平成 25 年	378.0	26. 2. 9	37	25. 12. 29	50	25. 11. 11	0	26. 4. 7	1	〃
平成 26 年	443.0	26. 12. 18	35	27. 2. 15	52	26. 11. 25	0	27. 3. 25	0	〃
平成 27 年	185.0	28. 1. 20	24	28. 1. 25	41	27. 12. 4	0	28. 3. 26	1	〃
平成 28 年	413.0	29. 2. 3	42	29. 2. 3	52	28. 11. 9	0	29. 3. 28	0	〃
平成 29 年	412.0	30. 1. 25	35	30. 2. 12	56	29. 11. 16	0	30. 4. 10	0	〃
平成 30 年	277.0	31. 1. 9	22	31. 1. 9	32	30. 11. 23	1	31. 4. 11	7	〃
令和元年	64.0	R2. 2. 11	8	R2. 2. 11	8	R1. 11. 20	0	R2. 4. 6	0	〃
令和 2 年	493	R2. 12. 18	30	R2. 2. 10	74	R2. 12. 3	0	R3. 3. 4	0	〃
令和 3 年	564	R3. 12. 27	30	R4. 1. 19	67	R3. 11. 24	0	R4. 4. 29	0	〃
令和 4 年	306	R4. 12. 24	35	R4. 12. 24	42	R4. 12. 2	0	R5. 4. 9	0	〃
令和 5 年	181	R6. 2. 22	25	R6. 1. 25	27	R5. 11. 25	0	R6. 3. 27	3	〃

※寒候期とは、晩秋から春先までの期間で、冬の寒さや雪の多少を表すときに用いる。

累 積 降 雪 量

単位・・・c m

(観測期間・1 1 月～4 月)



- 42 -

※全て天童市消防本部
で計測した参考値

最高・最低気温及び降水量					
最 高 気 温	38.9℃	8月31日	最低気温	−8.1℃	1月8日
一日最多降水量	98mm	6月28日			
年 降 水 量	1030mm				

令和5年 1月～12月		1月	2月	3月	4月	11月	12月	初雪
降 雪 量 (月合計) (cm)		123cm	87cm	1cm	2cm	0cm	18cm	11月25日
日最大降雪量	降 雪 量 (cm)	17cm	26cm	1cm	2cm	0cm	5cm	
	記 録 日	1月26日	2月11日	3月3日	4月9日		12月23日	
積 雪 深 (月最大) (cm)		23cm	28cm	1cm	2cm	0cm	8cm	

最大風速	18.9m/s	12月17日
------	---------	--------

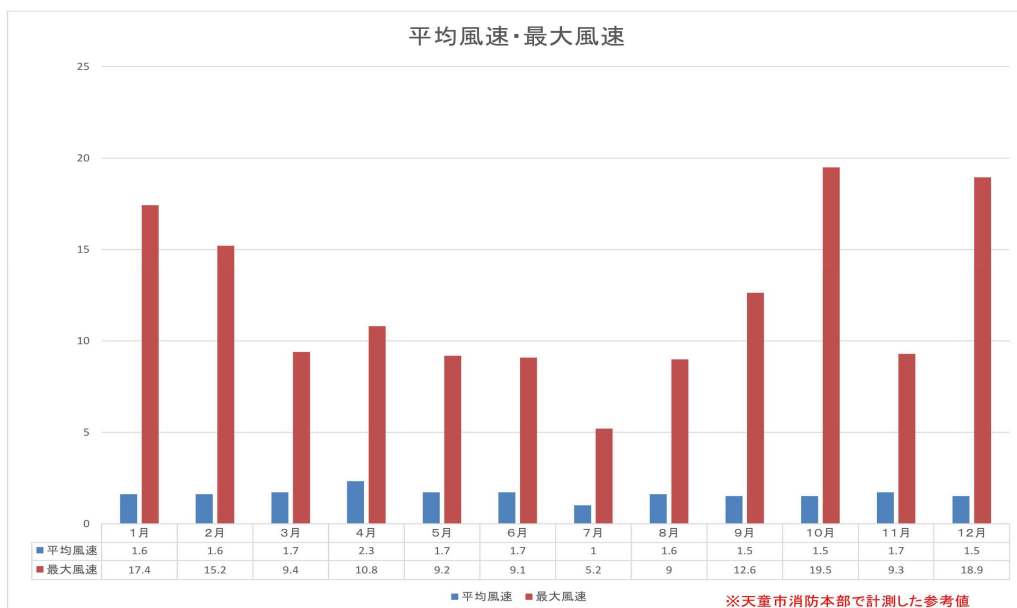
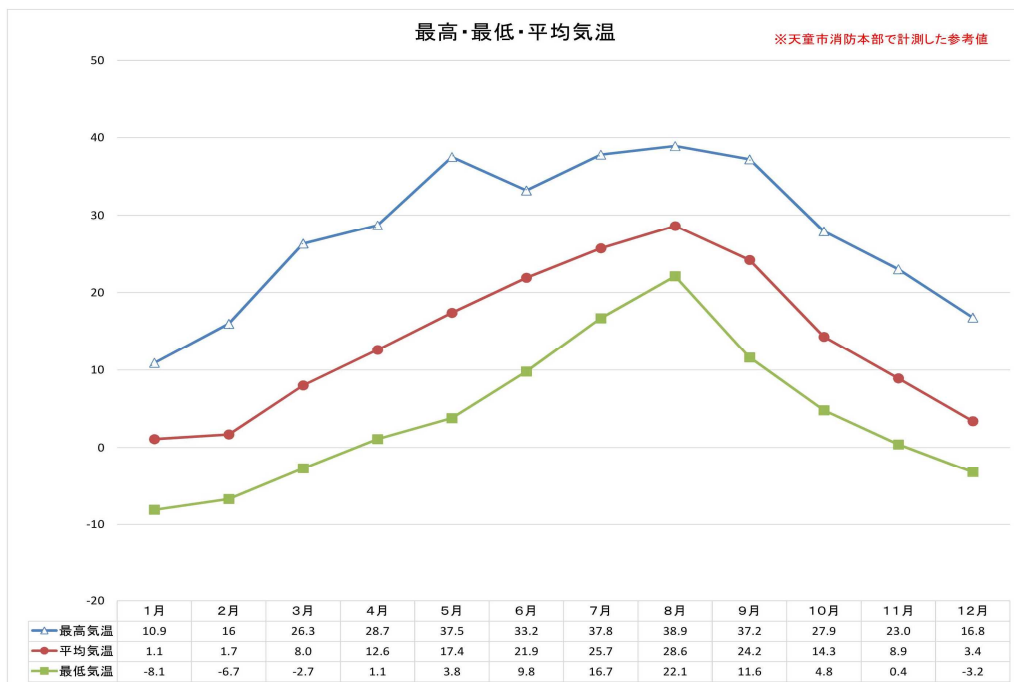
※猛暑日とは35度を超えた日

真夏日·猛暑日·真冬日

[illegible]

月 別 気 温

令和5年 1月～12月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平 均 気 温 (°C)		1.1	1.7	8.0	12.6	17.4	21.9	25.7	28.6	24.2	14.3	8.9	3.4
最高気温	気温(°C)	10.9	16.0	26.3	28.7	37.5	33.2	37.8	38.9	37.2	27.9	23.0	16.8
	記録日	9 日	28 日	23 日	20 日	18 日	6 日	29 日	31 日	1 日	1 日	3 日	16 日
最低気温	気温(°C)	-8.1	-6.7	-2.7	1.1	3.8	9.8	16.7	22.1	11.6	4.8	0.4	-3.2
	記録日	25 日	16 日	5 日	9 日	9 日	1 日	14 日	11 日	25 日	22 日	30 日	28 日



火 災 統 計

火災発生状況(前年との比較)

年 区 分			令和 5 年	令和 4 年	増・減 (△)
出 火 件 数	建 物 火 災	件	7	13	△ 6
	林 野 火 災				
	車 両 火 災		1		1
	そ の 他 火 災		3	4	△ 1
	合 計		11	17	△ 6
焼 損 棟 数	全 焼	棟	3	9	△ 6
	半 焼		1	2	△ 1
	部 分 焼		2	5	△ 3
	ぼ や		1	8	△ 7
	合 計		7	24	△ 17
焼 損 面 積	建 物	m ²	表 床 665	表 床 40 1,162	表 床 △ 40 △ 497
	林 野	a			
罹 災 世 帯 数	全 損	世帯	5	7	△ 2
	半 損			1	△ 1
	小 損		1	16	△ 15
	合 計		6	24	△ 18
罹 災 人 員		人	11	44	△ 33
死 者				2	△ 2
負 傷 者			5	6	△ 1
損 害 額	建 物	千円	61,131	80,932	△19,801
	林 野				
	車 両		27	315	△ 288
	そ の 他		20	6,200	△6,180
	合 計		61,178	87,447	△ 26,269
出 火 率			1.8	2.7	△ 0.9

表・・・表面積 床・・・床面積

月 別 火 災 発 生 状 況

	火 災 種 別					焼 損 棟 数	焼損面積		罹 災 世 帯 数	死 者	負 傷 者	損 害 額 (千円)	
	建 物	車 両	そ の 他	林 野	合 計		建 物 (㎡)						林 野 (a)
							表	床		(人)			
1	3				3	3		126		3		1	6,877
2	1				1	1		202		1			34,779
3			2		2							1	10
4	1				1	1		308		1		3	16,252
5	1				1	1		20		1			2,570
6													
7		1			1								27
8													
9	1				1	1		9					653
10													
11			1		1								10
12													
合計	7	1	3		11	7		665		6		5	61,178

表・・・表面積 床・・・床面積

曜 日 別 火 災 発 生 状 況

	火 災 種 別					焼 損 棟 数	焼損面積			罹 災 世 帯 数	死 者	負 傷 者	損 害 額 (千円)
	建 物	車 両	そ の 他	林 野	合 計		建 物 (㎡)		林 野 (a)				
							表	床			(人)		
日		1			1								27
月	1				1	1							10
火													
水	1		1		2	1		202		1			34,789
木	3				3	3		146		4		1	9,437
金			2		2							1	10
土	2				2	2		317		1		3	16,905
合計	7	1	3		11	7		665		6		5	61,178

表・・・表面積 床・・・床面積

時間別火災発生状況

	火災種別					焼損面積		損害額 (千円)
	建物	車両	その他	林野	合計	建物 (㎡)	林野 (a)	
0 ～ 1								
1 ～ 2								
2 ～ 3								
3 ～ 4								
4 ～ 5								
5 ～ 6								
6 ～ 7								
7 ～ 8								
8 ～ 9	1				1	床 17		1,349
9 ～ 10	1				1	床 20		2,570
10 ～ 11								
11 ～ 12		1	1		2			37
12 ～ 13	1				1	床 9		653
13 ～ 14	1				1			10
14 ～ 15	1		2		3	床 109		5,528
15 ～ 16								
16 ～ 17	1				1	床 308		16,252
17 ～ 18								
18 ～ 19								
19 ～ 20								
20 ～ 21								
21 ～ 22								
22 ～ 23	1				1	床 202		34,779
23 ～ 24								
不明								
合計	7	1	3		11	床 665		61,178

表・・・表面積 床・・・床面積

原因別火災発生状況

原 因	令 和 5 年				令和4年	増・減(△) (件数)
	件 数	焼 損 面 積		損 害 額 (千円)	件 数	
		建物(m²)	林野(a)			
た ば こ						
こ ん ろ					3	△ 3
風 呂 か ま ど					1	△ 1
ス ト ー ブ					1	△ 1
ボ イ ラ ー						
煙 突 ・ 煙 道						
電 気 機 器					1	△ 1
電 灯 ・ 電 話 等 の 配 線						
配 線 器 具	1	床 17		1, 349	1	0
火 遊 び						
焚 き 火	5	床 9		700	1	4
マ ッ チ ・ ラ イ タ ー						
灯 火						
落 雷						
放火(疑い含む)					1	△ 1
そ の 他	3	床 510		51, 041	4	△ 1
不 明 ・ 調 査 中	2	床 129		8, 088	4	△ 2
合 計	11	床 665		61, 178	17	△ 6

表・・・表面積 床・・・床面積

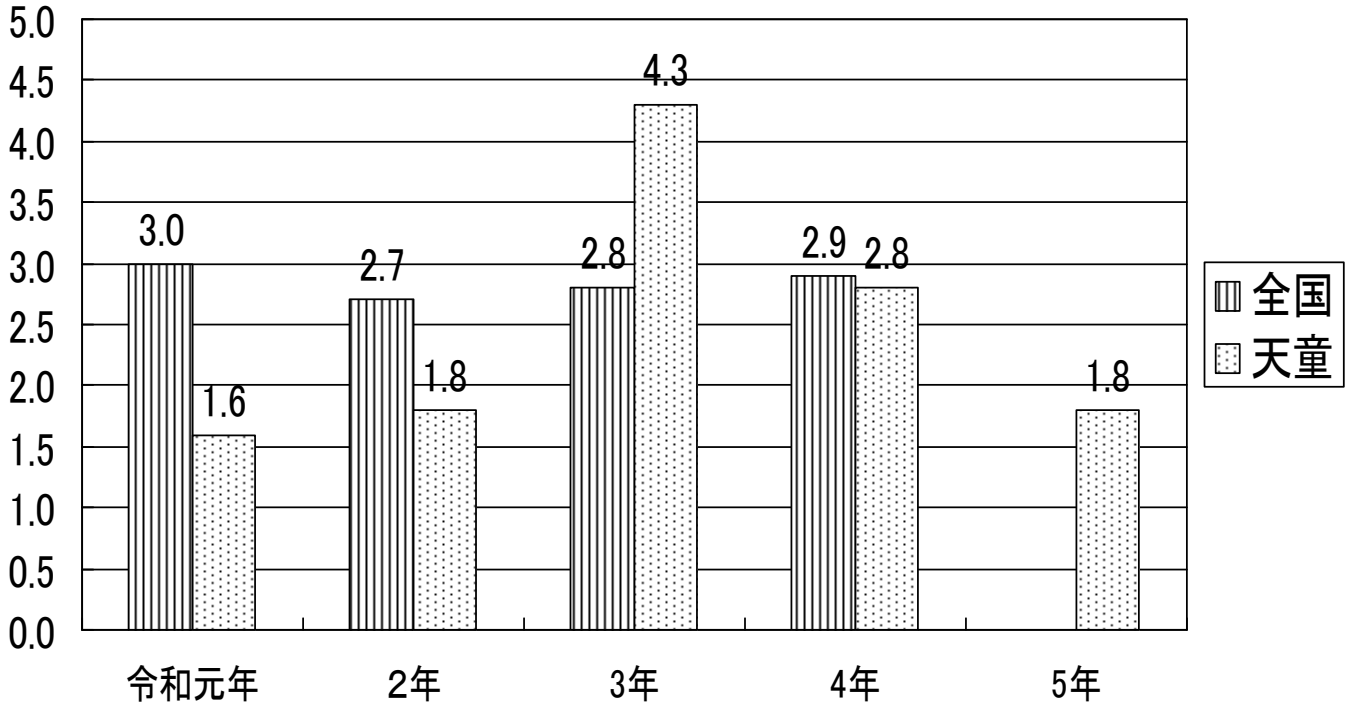
火災の覚知別件数

	合 計	119番	携帯119番	一般加入電話	警察直通電話	事後聞知	そ の 他
建物火災(件)	7	1	5	1			
林野火災(件)							
車両火災(件)	1		1				
その他の火災(件)	3		3				
合 計	11	1	9	1			

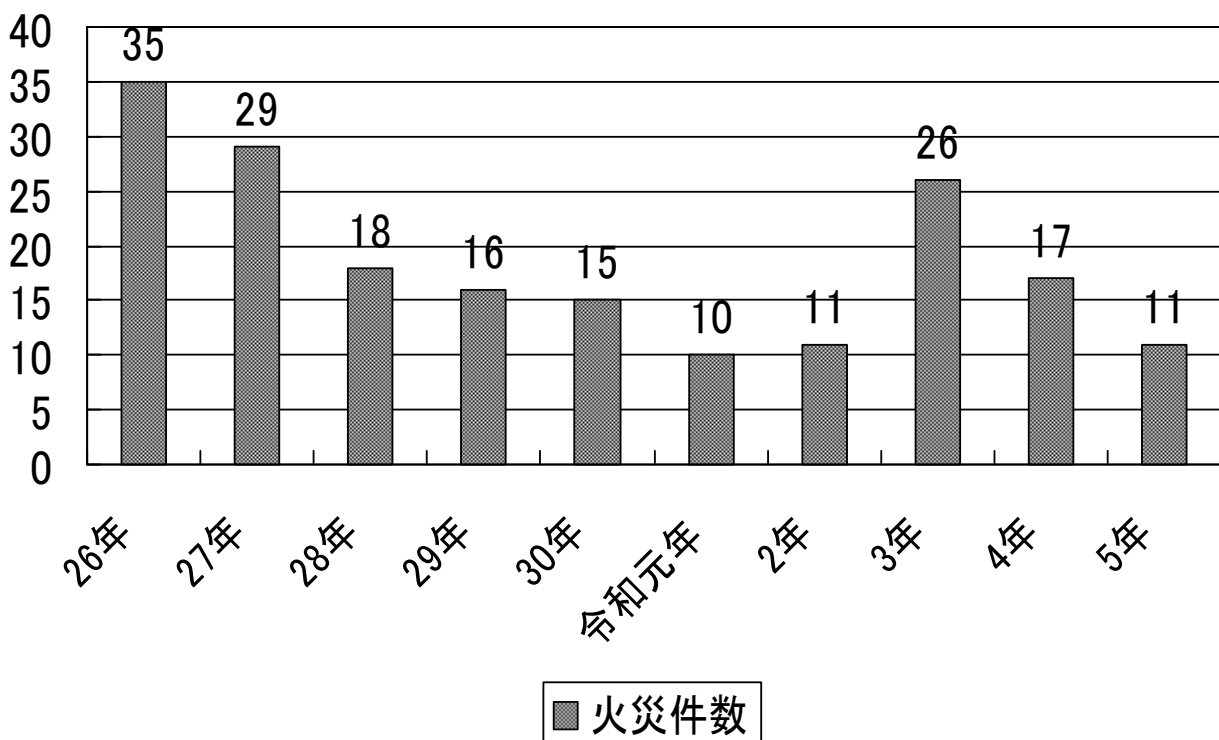
出 火 率

出火件数は、その都市の人口に比例するといわれており、人口1万人当たりの出火件数を
出火率といいます。

過去5年間の本市と全国の出火率は、次のとおりです。



過去10年間の火災件数



天童市の主な火災記録

年号月日	時 刻	概 要	損害(千円)	原 因
明治元年		矢野目部落は庄内藩と天童城主織田藩との交戦により 53 戸の全焼を見る。		庄内藩士の焼き討ち
明治 38 年 6 月 2 日		山口村字小原、住宅より出火し、18 戸 50 棟を全焼した。		かまどの火の不始末
大正 3 年 6 月 8 日	午後 1 時	天童町字田町、住宅より出火し、39 戸 61 棟を全焼した。	不動産 16 動産 13	炉火の不始末
大正 7 年 4 月 16 日	午後 3 時	山口村、物置小屋より出火、烈風に煽られ 39 戸 114 棟を全焼した。	42	子供の火遊び
昭和 14 年 11 月 1 日	午前 4 時	天童久野本、機械工場より出火、同工場を全焼した。	195	電灯取扱いの不良
昭和 15 年 4 月 19 日	午後 2 時	山口村大字川原子、住宅より出火、強風に煽られ 39 戸 149 棟、更に山林 35 町歩を全焼した。	178	かまどの火の不始末
昭和 17 年 6 月 10 日	午前 10 時	田麦野村、物置小屋より出火、強風に煽られて 16 戸を全焼した。	74	子供の火遊び
昭和 23 年 5 月 14 日	午前 10 時	津山村字下貫津、物置小舎より出火、13 戸を全焼した。		子供の火遊び
昭和 24 年 4 月 25 日	午後 2 時 30 分	天童町久野本機械工場より出火し、機械工場、会議室、鍛冶工場等を全焼した。	20,000	刃物の焼入れ作業中、重油に着火
昭和 25 年 4 月 16 日	午前 0 時 40 分	山口村役場より出火し、101 坪の同役場を全焼した。	5,000	放火
昭和 27 年 10 月 19 日	午前 10 時 40 分	天童町田町、木工場塗装室より出火し、同工場を全焼した。	23,700	タバコ火がシンナーに引火
昭和 33 年 5 月 5 日	午前 2 時 55 分	天童市大字山口、物置小屋より出火し、11 棟を全焼した。	2,013	放火
昭和 34 年 1 月 1 日	午前 4 時 05 分	天童温泉・旅館、大広間より出火、同旅館を全焼した。	16,312	タバコ火の不始末
昭和 35 年 5 月 4 日	午後 8 時 50 分	天童市藤内新田、サンダル工場より出火、9 棟を全焼、2 棟を半焼した。	3,029	ベアリングの過熱
昭和 35 年 10 月 30 日	午後 1 時 40 分	天童市老野森、製粉工場より出火し、同工場を全焼した。	6,799	ベアリングの過熱

年号月日	時 刻	概 要	損害(千円)	原 因
昭和 41 年 5 月 13 日	午前 9 時 20 分	天童市大字山口、住宅より出火、 住宅、土蔵、物置小屋等 3 棟全焼、 7 棟を半焼・部分焼した。	960	囲炉裏の火の粉が火 棚に飛び火
昭和 42 年 12 月 30 日	午後 11 時 20 分	天童市大字原町、工場から出火、 工場、倉庫、住宅、計 1,176 m ² を 焼損した。	24,220	不明
昭和 44 年 10 月 13 日	午後 11 時 14 分	天童市大字川原子、工場から出火、工 場、倉庫、物置等 509 m ² を焼損した。	3,064	不明
昭和 45 年 8 月 26 日	午後 7 時 45 分	天童市東本町、木工製作所から出火、 店舗兼倉庫 1 棟 430 m ² を焼損した。	7,460	不明
昭和 46 年 12 月 5 日	午前 0 時 30 分	天童市大字高揃、工場から出火、 工場と住居 1 棟 707 m ² 全焼、倉庫を部 分焼した。	9,974	溶解炉の火が可燃物 に着火
昭和 50 年 9 月 5 日	午後 5 時 55 分	天童市大字上荻野戸、チップ工場から 出火、工場と住居 1 棟 296 m ² と機械一 式を焼損した。	20,638	焼却炉からの飛び火
昭和 51 年 11 月 9 日	午後 12 時 55 分	天童市大字久野本、缶詰工場から 出 火、鉄骨一部木造平屋倉庫 255 m ² を焼 損した。	10,712	石油ストーブの取扱 い不注意
昭和 53 年 11 月 21 日	午後 2 時 35 分	天童市大字乱川、工場から出火、 工場 1 棟全焼、倉庫 1 棟半焼した。	16,332	溶接時の火花がクッ ション材料に着火
昭和 55 年 6 月 15 日	午後 1 時 55 分	天童市大字乱川、木工製作所から 出 火、乾燥材置場、乾燥場、計 328 m ² 全 焼、治具倉庫 2 棟を半焼した。	42,173	ボイラーの煙突から の火の粉が屋根に落 下して着火
昭和 59 年 8 月 26 日	午後 2 時 00 分	天童市大字北目、木工製作所から 出 火、工場延べ 3,296 m ² に内 400 m ² と家 具を焼損した。	59,918	不明
昭和 60 年 3 月 24 日	午前 3 時 27 分	天童市東本町、雑居ビルから出火、貸 店舗 474 m ² の内 348 m ² を焼損した。	31,767	漏洩したプロパンガ スに製氷機の電気火 花が引火
昭和 61 年 1 月 13 日	午前 3 時 45 分	天童市大字寺津、牛舎から出火、 牛舎 500 m ² 全焼、乳牛 37 頭、2t ダン プ等焼損した。	20,285	不明

年号月日	時 刻	概 要	損害(千円)	原 因
昭和 62 年 11 月 10 日	午前 4 時 30 分	天童市一日町、住宅から出火、建物 11 棟(全焼 4 棟、焼 2 棟、部分焼 5 棟) を焼損した。	18,507	ストーブの上に衣類 が落下
平成 2 年 5 月 30 日	午後 7 時 35 分	天童市大字寺津、住宅から出火、建物 4 棟(全焼 2 棟、部分焼 2 棟)を焼損し た。	34,903	ガソリンにライター の火が引火
平成 8 年 8 月 23 日	午後 8 時 00 分	天童市大字高揃、住宅から出火、 建物 4 棟(全焼 1 棟、半焼 1 棟、部分 焼 2 棟)を焼損した。	17,750	不明
平成 10 年 6 月 2 日	午後 1 時 10 分	天童市大字乱川、工務店から出火、ト タン張り倉庫 2 棟合計 209 m ² を焼損し た。	32,099	ごみの焼却の不始末
平成 10 年 7 月 2 日～ 7 月 7 日	未明から 明け方	天童市中里地内と東長岡地内で連続 7 件の放火事件があり、建物 1 件、そ の他(洗濯物など)6 件の火災があった。	合計で 77	放火
平成 13 年 2 月 24 日	午前 5 時 45 分	天童市一日町、危険物製造所から 出火、タンク 6 基と製造設備等、142.8 m ² を焼損した。	11,294	植物油(ヨウソ価 130) の自然発火
平成 16 年 4 月 2 日	午前 5 時 30 分	天童市大字久野本、住宅から出火、建 物(全焼 2 棟・半焼 1 棟・部分焼 2 棟・ ぼや 1 棟)を焼損した。	合計で 20,765	不明
平成 16 年 4 月 13 日	午前 7 時 15 分	天童市天童中、小路喜太郎稻荷神社か ら出火、本殿を全焼した。	27,316	放火
平成 17 年 8 月 25 日	午後 2 時 05 分	天童市南町、県営天童南部アパート地 下ピット内に漏れた L P ガスを排出 中に爆発、2 名負傷。		電気機器のショート
平成 23 年 3 月 19 日	午前 1 時 45 分	天童市大字蔵増、木工所兼住宅の 木工所から出火、建物 1 棟 (571 m ²) を全焼した。	59,307	不明
平成 24 年 7 月 23 日	午後 8 時 40 分	天童市大字荒谷、作業所兼車庫付近か ら出火、建物 4 棟 (全焼 3 棟・部分焼 1 棟) を焼損した。	合計で 6,419	不明
平成 25 年 12 月 4 日	午後 1 時 40 分	天童市芳賀土地区画整理事業地内、建 築中のショッピングモールから出火、 建物 1 棟 (床面積 1,620 m ² 、 表面積 78.12 m ²) を部分焼し、4 名負 傷した。	15,765	溶接作業中の熔融金 属

年号月日	時 刻	概 要	損害(千円)	原 因
平成 27 年 1 月 9 日	午後 8 時 20 分	天童市清池東、野菜工場から出火、 建物 1 棟 (354.50 m ²) を焼損した。	181,314	不明
平成 27 年 8 月 1 日	午前 3 時 30 分	天童市東芳賀、住宅から出火、 建物 10 棟 (全焼 2 棟、部分焼 7 棟、 ぼや 1 棟) を焼損した他、3 名が負傷 した。	56,262	不明
平成 27 年 12 月 7 日	午前 1 時 45 分	天童市大字乱川、正一位稲荷神社 から出火、建物 2 棟 (幣拝殿 51.44 m ² 全焼、本殿 8.70 m ² 全焼) を焼損した。	1,715	不明
平成 28 年 1 月 2 日	午後 15 時 00 分	天童市清池東、住宅から出火、建物 4 棟 (全焼 1 棟、半焼 1 棟、部分焼 2 棟) を焼損した他、2 名が死亡した。	695	不明
平成 29 年 12 月 30 日	午前 2 時 55 分	天童市北久野本、住宅から出火、建物 4 棟 (全焼 1 棟、部分焼 3 棟) 及び車 両 2 台を焼損した他、1 名が負傷した。	2,055	不明
平成 30 年 7 月 11 日	午前 2 時 50 分	天童市高嶺、作業場から出火、建物 3 棟 (全焼 2 棟、部分焼 1 棟) 及び車両 1 台を焼損した。	31,776	不明
令和 4 年 1 月 7 日	午前 6 時 10 分	天童市久野本、住宅から出火、建物 6 棟 (全焼 4 棟、部分焼 1 棟、ぼや 1 棟) 及び車両 3 台を焼損した他、1 名 が負傷した。	5,382	ストーブ
令和 4 年 9 月 21 日	午前 7 時 40 分	天童市塚野目、住宅から出火、建物 5 棟 (全焼 2 棟、半焼 2 棟、部分焼 1 棟) を焼損した他、1 名が死亡した。	36,188	不明

救 急 ・ 救 助 統 計

救急出場件数(前年との比較)

事故種別 区分(年)		合 計	火 災	自然 災害	水難 事故	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加 害	自損 行為	急 病	そ の 他			
													転 院 搬 送	医 師 搬 送	輸 送 資 器 材	そ の 他
5	出場件数	2,888	7		1	117	17	31	398	5	15	1,894	381			22
	搬送人員	2,609	7		1	103	17	30	355	4	6	1,690	396			
4	出場件数	2,870	8		1	126	37	19	351	6	14	1,824	394		1	89
	搬送人員	2,647	7			124	37	19	316	4	10	1,650	480			
前 比 年 年 と の 較	出場件数	18	-1		0	-9	-20	12	47	-1	1	70	-13		-1	-67
	搬送人員	-38	0		1	-21	-20	11	39	0	-4	40	-84			

月別・事故種別救急出場件数と搬送人員

月別	事故種別 区分	合計	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
1月	出場件数	251	3			6	1	1	35		3	160	42
	搬送人員	227	3			6	1	1	29		2	143	42
2月	出場件数	203				6	3	1	34	1	1	128	29
	搬送人員	175				6	3	1	28	1		107	29
3月	出場件数	221	1			4	1	1	26		1	157	30
	搬送人員	198	1			4	1	1	24			138	29
4月	出場件数	214	3			12	1	1	26		1	127	43
	搬送人員	196	3			9	1	1	22		1	116	43
5月	出場件数	232				8		2	30		2	152	38
	搬送人員	212				4		2	28		2	139	37
6月	出場件数	206				8	2	3	36			120	37
	搬送人員	196				8	2	3	34			114	35
7月	出場件数	287				7	1	5	35	1	2	206	30
	搬送人員	257				6	1	4	34	1		181	30
8月	出場件数	326				17	1	6	50	1		211	40
	搬送人員	290				15	1	6	41			188	39
9月	出場件数	246				13	3	4	27		1	171	27
	搬送人員	230				13	3	5	25		1	157	26
10月	出場件数	230				10	2	3	36		3	142	34
	搬送人員	206				10	2	2	33			125	34
11月	出場件数	255				11	1	2	27			182	32
	搬送人員	228				10	1	2	21			163	31
12月	出場件数	217			1	15	1	2	36	2	1	138	21
	搬送人員	194			1	12	1	2	36	2		119	21
合計	出場件数	2,888	7		1	117	17	31	398	5	15	1,894	403
	搬送人員	2,609	7		1	103	17	30	355	4	6	1,690	396
前年	出場件数	2,870	8		1	126	37	19	351	6	14	1,824	484
	搬送人員	2,647	7			124	37	19	316	4	10	1,650	480
増減	出場件数	18	-1		0	-9	-20	12	47	-1	1	70	-81
	搬送人員	-38	0		1	-21	-20	11	39	0	-4	40	-84

救急隊員の行った応急処置

事故種別 応急処置	合 計	急 病	交通事故	一般負傷	そ の 他
搬 送 人 員	2,609	1,690	103	355	461
処 置 対 象 人 員	2,598	1,684	103	355	456
止 血	65	10	7	41	7
固 定	66	2	37	22	5
人 工 呼 吸	29	25		2	2
胸 骨 圧 迫	28	25		2	1
心 肺 蘇 生	63	53	2	6	2
酸 素 吸 入	453	341	7	18	87
気 道 確 保	83	69	2	9	3
※ 1	1	1			
※ 2	3	1		2	
※ 3	9	8		1	
※ 4					
保 温	60	40	3	7	10
被 覆	126	10	24	85	7
在宅医療法継続	46	38		5	3
※ A	1	1			
※ B	8	4		3	1
※ C	37	33		2	2
ショックパンツ					
除 細 動	9	9			
静 脈 確 保	65	60		4	1
心肺機能停止後	36	32		3	1
心肺機能停止前	24	23		1	
薬 剤 投 与	18	17		1	
エピペン投与					
ブドウ糖溶液投与	5	5			
血 糖 値 測 定	89	88		1	
その他の応急処置	2,575	1,677	102	351	445
血 圧 測 定	2,493	1,614	99	342	438
聴診器による聴取	413	323	12	19	59
血中酸素飽和度測定	2,529	1,631	100	348	450
心 電 図	1,593	1,202	24	136	231
合 計	10,808	7,239	419	1,399	1,751

注1 その他とは、火災・自然災害・水難事故・労働災害・運動競技・加害・自損行為・その他(転院)をいう。

注2 (※1) 経鼻エアウェイによる気道確保

(※2) 喉頭鏡・マギール鉗子等を使用した異物除去

(※3) ラリングアルマスク等を使用した気道確保

(※4) 気管挿管処置

(※A) 在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法による点滴処置者への応急処置

(※B) 気管切開孔・気管瘻・人工肛門等の外瘻処置者への応急処置

(※C) ※A・※B以外の処置者への応急処置

注3 応急処置は、傷病者に対して複数の処置を行う場合もあるため、処置人数の合計とは一致しない。

医療機関別搬送人員

上段：医療機関搬送人員

下段：管外医療機関搬送人員

事故種別 告示別等 の医療機関		合 計	急 病	交 通 事 故	一 般 負 傷	そ の 他
救 急 告 示	国 立	146 146	89 89	1 1	13 13	43 43
	公 立	1,291 848	916 528	30 28	110 70	235 222
	公 的	641 641	425 425	16 16	69 69	131 131
	私 的 病 院	489 47	228 41	55	160 2	46 4
	私的診療所					
	小 計	2,567 1,682	1,658 1,083	102 45	352 154	455 400
非 告 示	国 立					
	公 立					
	公 的					
	私 的 病 院	30 20	24 17	1 1		5 2
	私的診療所	12 1	8 1		3	1
	小 計	42 21	32 18	1 1	3	6 2
そ の 他 の 場 所						
合 計		2,609 1,703	1,690 1,101	103 46	355 154	461 402

時 間 別 救 急 出 場 状 況

事故 種別 時間別	出 場 件 数	火 災	自然 災害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
0 ～ 2	117				2	1		10		1	97	6
2 ～ 4	83				3			9			62	9
4 ～ 6	107							18			87	2
6 ～ 8	203			1	9			45	1	1	145	1
8 ～10	351				14	2	2	48		3	251	31
10～12	386				16	2	8	64		5	213	78
12～14	356				14	3	8	43			212	76
14～16	325	4			19	3	10	32	1	1	194	61
16～18	337	2			16	5	3	40			190	81
18～20	293	1			16	1		47	2	2	188	36
20～22	221				2			34		1	167	17
22～24	109				6			8	1	1	88	5
合 計	2,888	7		1	117	17	31	398	5	15	1,894	403

年 齢 別 ・ 性 別 ・ 事 故 種 別 搬 送 人 員

事故 種別 性別 年齢別	搬 送 人 員	火 災	自然 災害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
計	男	1,398	3		50	13	27	178	1	2	913	211
	女	1,211	4	1	53	4	3	178	3	4	776	185
新 生 児		15									1	14
乳 幼 児		131			4			17			105	5
少 年		86			3		17	9			56	1
成 人		652	6		61	16	10	71	3	4	387	94
高 齢 者		1,725	1	1	35	1	3	258	1	2	1,141	282
合 計		2,609	7	1	103	17	30	355	4	6	1,690	396

新生児 生後 28 日未満の者

乳幼児 生後 28 日以上 ～ 満 7 歳未満の者

少 年 満 7 歳以上 ～ 満 18 歳未満の者

成 人 満 18 歳以上 ～ 満 65 歳未満の者

高齢者 満 65 歳以上の者

事故種別・傷病程度別搬送人員

事故種別 傷病程度別	搬送人員	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
死亡	61			1	2			6		1	50	1
重症	421	1			5			61		3	261	90
中等症	1,060	4			18	6	8	122		2	640	260
軽症	1,067	2			78	11	22	166	4		739	45
その他												
合計	2,609	7		1	103	17	30	355	4	6	1,690	396

傷病者の程度は、初診時における医師の診断に基づき、次の5種類に分類する。

- (1)「死亡」とは、初診時において死亡が確認されたもの。
- (2)「重症」とは、傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの。
- (3)「中等症」とは、傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの。
- (4)「軽症」とは、傷病の程度が入院加療を必要としないもの。
- (5)「その他」とは、医師の診断のないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの。

曜日別救急出場件数・搬送人員

事故種別 曜日別	合計	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	資器材搬送	その他
日	401 353				19 18	1 1	17 17	55 49	1 1	2 1	280 242	22 22		4 2
月	453 410	2 2			10 9	1 1	2 3	58 47		3 2	315 285	59 59		3 2
火	416 374			1 1	24 20	6 6	1 1	56 51	1 1	2 1	251 221	71 71		3 1
水	391 355				13 13	1 1	1 1	61 55	1	1	250 223	59 59		4 3
木	396 362	1 1			14 11	4 4		49 42	1 1	2 1	264 241	59 59		2 2
金	448 412	1 1			18 16	1 1	2 2	60 57		4	281 255	77 77		4 3
土	383 343	3 3			19 16	3 3	8 6	59 54	1 1	1 1	253 223	34 34		2 2
合計	2,888 2,609	7 7		1 1	117 103	17 17	31 30	398 355	5 4	15 6	1,894 1,690	381 381		22 15

上段 出場件数

下段 搬送人員

月別救急出場件数

件数 月別	1 件	2 件	3 件	4 件	5 件	6 件	7 件	8 件	9 件	10 件	11 件	12 件	13 件	14 件	15 件	16 件	17 件	18 件	19 件	20 件	月 件 数	2 隊 同 時 出 場	3 隊 同 時 出 場	4 隊 同 時 出 場	5 隊 同 時 出 場
1			1	2	1	5	7	3	4	1	3		3	1							251	65	39	10	1
2		2	1	2	3	3	2	6	4	3		1			1						203	54	11	4	
3			4	3	3	1	6	7	2	2	1			1	1						221	56	20		
4		2	2	1	6	2	4	3	3	4		1	1	1							214	60	14	6	1
5			1	3	3	3	6	5	3	6					1						232	57	21	1	
6		1	3	4	3	3	3	2	6	2	1	2									206	54	9	3	
7			1		5	1	4	3	6	2	5	1	2	1						1	287	92	30	6	1
8				1	1	2	5		4	1	5	3	4	1	1		2	1			326	101	32	11	8
9				1	2	5	2	4	7	3		3	1	1							246	76	20	2	
10			2	2	6	5	5	3			1	6		1							230	67	20	3	1
11				1	4	2	5	2	4	6	2	2	2								255	72	25	4	
12		1	2	3	3	8	4	2	2	1	1	2	1	1							217	56	14	7	
合計		6	17	23	40	40	53	40	45	31	19	21	14	8	4		2	1		1	2,888	810	255	57	12

発生場所別・事故種別搬送人員

発生場所 事故種別	搬送人員	住 宅	公衆出入 場 所	仕事場	道 路	その他
急 病	1,690	1,231	391	36	21	11
交通事故	103	4	4	1	93	1
一般負傷	355	202	102	8	27	16
そ の 他	461	21	425	12		3
合 計	2,609	1,458	922	57	141	31

(注) 1 発生場所とは、事故等の発生した場所又は傷病者のいた場所をいう。

2 「住宅」とは、一般住宅及び高層住宅等で住居としている場所をいう。

3 「公衆出入場所」とは、百貨店、映画館、旅館、学校、駅構内等の人の集まる場所をいう。

4 「仕事場」とは、事務所、工場、作業所、各種事務所等の仕事をしている場所をいう。

5 「道路」とは、一般道、高速道路、交差点、歩道及び歩道橋をいう。

6 「その他」とは、上記以外の場所で、公園、広場、空地、農地等をいう。

なお、発生場所が不明なものも含む。

覚知から収容までの時間

所要 時間 事故 種別	搬送人員		覚知から医療機関等に収容するまでに要した時間別人員												収容 平均 時間
			10 分未満		10 分以上 20 分未満		20 分以上 30 分未満		30 分以上 60 分未満		60 分以上 120 分未満		120 分以上		
		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外		うち 管外	
急 病	1,690	1,101			2		113	14	1,188	748	382	335	5	4	49.2 分
交 通 事 故	103	46					9	2	70	24	23	19	1	1	49.3 分
一 般 負 傷	355	154			1		35	2	260	99	58	52	1	1	46.5 分
その他	461	402			3		83	55	359	332	16	15			37.7 分
合 計	2,609	1,703			6		240	73	1,877	1,203	479	421	7	6	46.8 分

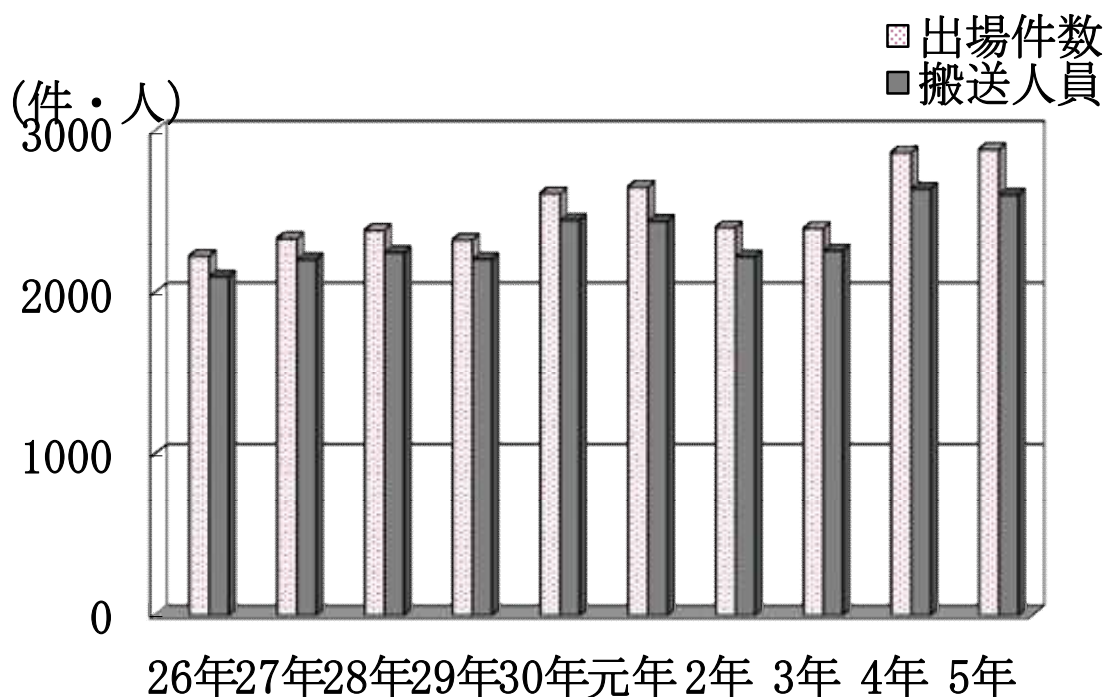
覚知から現場到着所要時間別出場件数

所要時間 事故種別	出場件数	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	現場到着平 均所要時間
急 病	1,894	4	64	1,318	503	5	8.3分
交通事故	117		4	59	51	3	9.5分
一般負傷	398	4	17	268	109		8.1分
そ の 他	479	2	109	314	49	5	7.1分
合 計	2,888	10	194	1,959	712	13	8.1分

覚 知 状 況

覚知種別 件数・比率	合 計	1 1 9 番	一般加入	警察直通	駆け付け	自己覚知	その他
出 場 件 数	2,888	2,678	127	8	9		66
比 率 (%)	100%	92.7%	4.4%	0.3%	0.3%		2.3%

過去 10 年間の出場件数及び搬送人員の推移



年 件数 人員	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年
出場件数	2,226	2,339	2,391	2,331	2,618	2,658	2,409	2,402	2,870	2,888
搬送人員	2,100	2,204	2,248	2,207	2,453	2,447	2,222	2,260	2,647	2,609

応急手当普及啓発活動状況

対 象 区 分	合 計		教育機関		事業所等		防災組織		一般市民等		消 防 団		福祉・乳幼児 施設	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
普通救命講習	14	232	2	55	7	95	2	10			1	26	2	46
※	1	9			1	9								
一般応急手当講習	49	1,054	10	210	8	180	8	305	4	71			19	288
※														
応急手当普及員講習														
合 計	63	1,286	12	265	15	275	10	315	4	71	1	26	21	334
※	1	9			1	9								
指導者数	147		31		35		22		7		5		47	

※応急手当普及員が指導を行った回数及び受講人数

救 助 出 場 の 状 況

月 別	出 場 件 数	事 故 種 別									出 場 人 員	出 場 台 数
		火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	風 水 害 等 自 然 災 害 事 故	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他		
1	3	2	1								42	12
2	3	1	1				1				45	12
3	3	2						1			54	15
4	5	1	2				1			1	72	19
5	2	1						1			37	9
6	2			1						1	16	5
7	3	1	1				1				24	7
8	5		2				2			1	59	17
9	6	1	2				1			2	63	18
10	3					1		1		1	47	15
11	2	1					1				26	7
12	4			1			1			2	38	10
合 計	41	10	9	2		1	8	3		8	523	146

事故種別救助活動件数及び救助人員

事 故 種 別	救 助 活 動 件 数	救 助 人 員
火 災		
交 通 事 故	4	4
水 難 事 故	1	1
風水害等自然災害事故		
機械による事故	1	1
建物等による事故	2	2
ガス及び酸欠事故	1	1
破 裂 事 故		
そ の 他	1	1
合 計	10	10

消 防 団

消 防 団 の 沿 革

昭和 14 年	4 月	勅令により消防組から警防団と改称
昭和 23 年	3 月	政令をもって新たに公布され現在の組織となる。
	7 月	消防法が公布
昭和 29 年	10 月	町村合併促進法により、1 町 6 か村(天童町、成生村、蔵増村、寺津村、津山村、山口村、田麦野村)が合併し新天童町消防団が誕生 7 分団 38 部、団員 1,103 名、消防ポンプ自動車 6 台、三輪ポンプ自動車 2 台、手引き動力ポンプ 29 台、可搬動力ポンプ 5 台
昭和 33 年	10 月	市制施行、県下 10 番目
昭和 35 年	4 月	成生地区に消防ポンプ自動車(B S - I 型、トヨタ)を配置
昭和 36 年	3 月	寺津地区に消防ポンプ自動車(B S - I 型、日産)を配置
昭和 37 年	10 月	豊栄村が編入合併し、消防団の再編成を実施 10 分団 58 部、団員数 1,427 人、消防ポンプ自動車 12 台、三輪ポンプ自動車 1 台、手引き動力ポンプ 34 台、可搬動力ポンプ 13 台
昭和 38 年	2 月	消防本部、消防団、日本消防協会から竿頭綬を授与
	3 月	千布地区(上萩野戸)に消防ポンプ自動車(B S - I 型、日産)を配置
昭和 39 年	1 月	高掬地区(堀端)に消防ポンプ自動車(B S - I 型、日産)、天童地区(久野本)に(B S - I 型、トヨタ)を配置
	3 月	消防本部、消防団、山形県知事から表彰旗を授与
昭和 40 年	5 月	消防団の再編成を実施、18 分団 59 部 74 班、団員数 1,335 人 消防ポンプ自動車 16 台、手引き動力ポンプ 30 台、可搬動力ポンプ 23 台
昭和 47 年	11 月	団連絡車(三菱ウィルスワゴンジープ)を配置
昭和 48 年	4 月	分団組織を 18 分団から 10 分団に再編成し、人命救助隊を新たに編成
昭和 49 年	4 月	消防タンク車設置協会からタンク車(10t 水槽車、三菱)の寄贈を受ける。
昭和 53 年	6 月	天童市労務対策協議会からマイクロバスの寄贈を受け(救助車)を配置
昭和 56 年	10 月	高掬地区(中里)に小型動力ポンプを配置し、第 8 分団第 8 部を組織する。
昭和 57 年	10 月	第 8 回全国消防操法大会に第 5 分団第 3 部(温泉地区)が自動車ポンプ操法の部に出場
昭和 59 年	3 月	消防本部、消防団、消防庁長官から表彰旗を授受
昭和 62 年	10 月	天童地区(北久野本)に小型動力ポンプを配置し、第 1 分団第 6 部第 3 班を組織する。
昭和 63 年	9 月	日本消防協会から小型動力ポンプ積載車(トヨタ)が寄贈され、荒谷地区(荒谷原)に配置
平成 元年	4 月	消防本部の救助工作車更新に伴い、旧車を蔵増地区(矢野目)に小型動力ポンプ積載車として整備し配置
平成 3 年	11 月	団員の出動に備え、搬送車(公共応急作業車、マイクロバス、三菱)を配置
平成 5 年	5 月	平成 5 年度東北地区水防訓練(中山町最上川)に第 3 分団、第 4 分団が出場
	11 月	自治体消防発足 45 周年記念式典に団長以下 16 名参加
平成 7 年	8 月	災害に備え災害支援車(守る震災号、三菱)を配置
平成 8 年	12 月	高掬地区(堀端)に小型動力ポンプ積載車(日産)を配置
平成 9 年	7 月	消防団指揮車(日産、テラノ)を配置
平成 9 年	12 月	山口地区(乱川)に小型動力ポンプ積載車(トヨタ)を配置
平成 10 年	10 月	成生地区(大清水)に小型動力ポンプ積載車(トヨタ)を配置

平成 11 年	11 月	高嶺地区(長岡)に小型動力ポンプ積載車(トヨタ)を配置
平成 13 年	4 月	田麦野地区の第 2 部と第 3 部を統合し第 2 部に小型動力ポンプ積載車(トヨタ)を配置
	12 月	干布地区(原町)に小型動力ポンプ積載車(日産)を配置
平成 14 年	4 月	山口地区の第 7 分団第 2 部(渡戸)が廃部になる。
	12 月	寺津地区(藤内新田)に小型動力ポンプ積載車を配置
平成 15 年	2 月	高嶺地区(東芳賀)に第 8 分団第 9 部が新設され、小型動力ポンプを配置
	12 月	山口地区(川原子)に小型動力ポンプ積載車(三菱)を配置
平成 17 年	12 月	天童地区(一日町)、高嶺地区(東芳賀)に軽自動車小型動力ポンプ積載車を配置
平成 19 年	3 月	成生地区(高木)、津山地区(立宿)に軽自動車小型動力ポンプ積載車を配置 干布地区(片羽)に軽自動車小型動力ポンプ積載車を配置
平成 20 年	11 月	天童地区(北目)、山口地区(上山口)に軽自動車小型動力ポンプ積載車を配置
平成 21 年	10 月	蔵増地区(窪野目)に軽自動車小型動力ポンプ積載車を配置
平成 22 年	10 月	津山地区(上貫津)、高嶺地区(芳賀)に軽自動車小型動力ポンプ積載車を配置
平成 23 年	12 月	山口地区(道満)に軽自動車小型動力ポンプ積載車を配置
平成 24 年	3 月	消防審議会の答申を受け、平成 28 年度までの 5 か年計画により天童市消防団再編計画を策定
	11 月	干布地区(石倉)に軽自動車小型動力ポンプ積載車を配置
平成 25 年	4 月	天童市消防団再編計画に基づき、蔵増地区(第 3 分団)が 8 部 8 班体制、干布地区(第 9 分団)が 6 部 8 班体制となる。
	10 月	天童市消防団が組織されて以来、初となる女性消防隊を発足(隊長以下 4 名)
	11 月	消防団 120 年・自治体消防 65 周年記念大会(東京ドーム)に団長以下 27 名参加
平成 26 年	3 月	成生地区(小関)、蔵増地区(塚野目)に軽自動車小型動力ポンプ積載車を配置
	4 月	天童市消防団再編計画に基づき、寺津地区(第 4 分団)が 2 部 4 班体制となる。
平成 27 年	4 月	天童市消防団再編計画に基づき、成生地区(第 2 分団)が 8 部 8 班体制、田麦野地区(第 6 分団)が 1 部 2 班体制、干布地区(第 9 分団)が 6 部 7 班体制となる。
平成 28 年	4 月	天童市消防団再編計画に基づき、山口地区(第 7 分団)が 11 部 14 班体制となる。
平成 29 年	4 月	天童市消防団再編計画に基づき、市内 11 地区に再編し成生地区(第 2 分団)が 7 部 8 班体制、山口地区(第 7 分団)が 11 部 12 班体制、干布地区(第 9 分団)が 6 部 6 班体制となり、高嶺地区の第 8 分団第 8 部と第 9 部を新設する第 11 分団(長岡地区)2 部 2 班体制に、高嶺地区(第 8 分団)は 3 部 7 班体制になる。
平成 30 年	3 月	山口地区(原崎)に軽自動車小型動力ポンプ積載車を配置
	4 月	天童市消防団再編計画に基づき、市内 13 地区に再編し天童中部地区(第 1 分団)が 4 部 4 班体制、山口地区(第 7 分団)が 10 部 11 班体制となり、天童南部地区(第 12 分団)4 部 4 班体制、天童北部地区(第 13 分団)2 部 3 班体制を新設する。
	11 月	長岡地区(中里)に消防ポンプ自動車を配置
令和 2 年	3 月	山口地区(小原)に軽自動車小型動力ポンプ積載車を配置
令和 4 年	3 月	成生地区(向原)に軽自動車小型動力ポンプ積載車を配置
令和 5 年	12 月	成生地区(大町)に軽自動車小型動力ポンプ積載車を配置

歴 代 消 防 団 長

(昭和 29 年 10 月 町村合併以降)

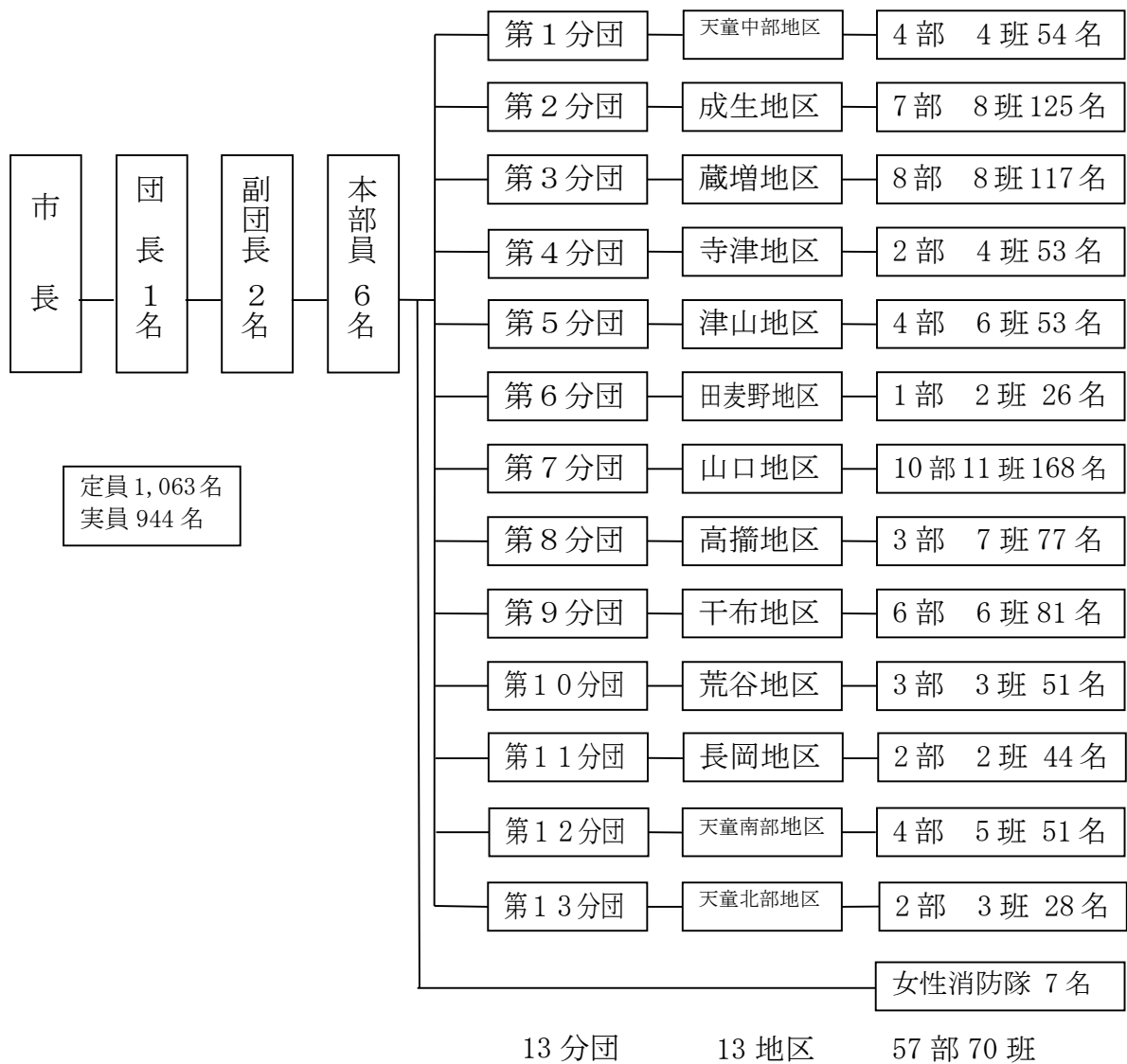
代	氏 名	期 間
初 代	鈴 木 清 吉	昭和 2 9 年 1 0 月～昭和 4 4 年 3 月
2 代	安 喰 幸一郎	昭和 4 4 年 4 月～平成 1 1 年 3 月
3 代	赤 塚 二 男	平成 1 1 年 4 月～平成 1 8 年 4 月
4 代	新 関 謙 司	平成 1 8 年 5 月～平成 2 7 年 3 月
5 代	武 田 正 悦	平成 2 7 年 4 月～ 現 在

歴 代 消 防 副 団 長

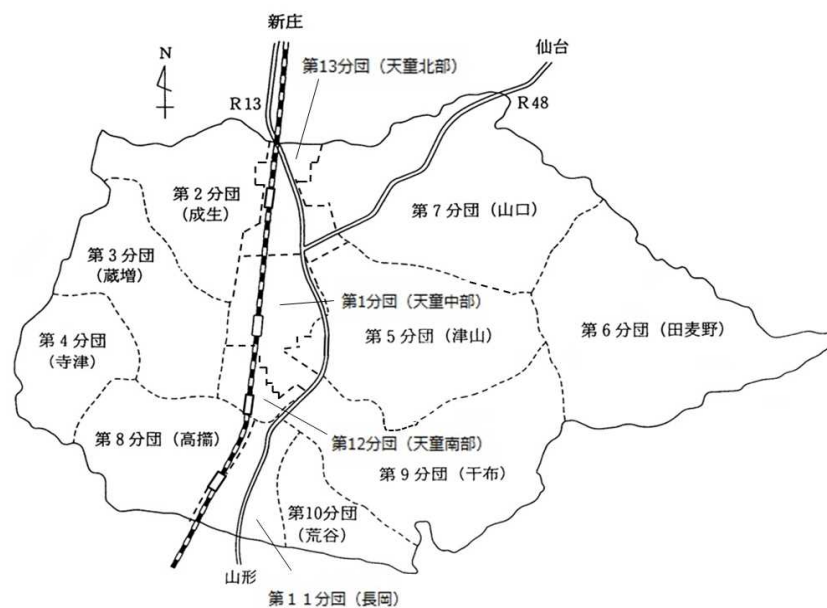
(昭和 2 9 年 1 0 月 町村合併以降)

	氏 名	期 間
町 村 合 併	新 関 吉 雄	昭和 2 9 年 1 0 月～昭和 3 2 年 8 月
	近 野 忠 市	昭和 2 9 年 1 0 月～昭和 3 6 年 1 0 月
豊栄村合併	奥 山 保	昭和 3 7 年 1 0 月～昭和 3 9 年 5 月
	安 喰 幸一郎	昭和 3 7 年 1 0 月～昭和 4 4 年 3 月
	菱 沼 盛 男	昭和 4 4 年 4 月～昭和 4 5 年 3 月
	野 口 直 吉	昭和 3 6 年 6 月 1 4 日～昭和 4 4 年 3 月 3 1 日 昭和 4 5 年 4 月 1 日～平成 1 1 年 3 月 3 1 日
	赤 塚 二 男	昭和 5 2 年 4 月 1 日～平成 1 1 年 3 月 3 1 日
	垂 石 祐 孝	平成 1 1 年 4 月 1 日～平成 1 7 年 7 月 3 1 日
	新 関 謙 司	平成 1 1 年 4 月 1 日～平成 1 8 年 4 月 3 0 日
	林 克 巳	平成 1 7 年 1 0 月 1 日～平成 2 3 年 5 月 2 0 日
	武 田 正 悦	平成 1 8 年 7 月 1 日～平成 2 7 年 3 月 3 1 日
	山 口 孝	平成 2 7 年 4 月 1 日～平成 2 9 年 3 月 3 1 日
	赤 塚 雄 二	平成 2 4 年 4 月 1 日～ 現 在
	滝 口 雅 一	平成 2 9 年 4 月 1 日～ 現 在

消 防 団 の 組 織 図



消 防 分 団 管 轄 図



年齢及び階級別消防団員数

(人)

階級 年齢	合計	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
18 歳	0							
19 "	1							1
20 "	1							1
21 "	1							1
22 "	4							4
23 "	6							6
24 "	3							3
25 "	11							11
26 "	9							9
27 "	10							10
28 "	23						1	22
29 "	20							20
30 "	14							14
31 "	24					1		23
32 "	25					2	1	22
33 "	25						2	23
34 "	27					1	3	23
35 "	36					3	3	30
36 "	50					5	2	43
37 "	51					4	5	42
38 "	46				1	4	6	35
39 "	63				1	4	6	52
40 "	64			2	1	6	8	47
41 "	44					2	6	36
42 "	61			1	1	6	2	51
43 "	34			3	1	3	3	24
44 "	47			2		2	2	41
45 "	51			1	1	3	5	41
46 "	41			1	2	1	6	31
47 "	36					3	1	32
48 "	16				1	1	1	13
49 "	14					2	1	11
50～54 "	55		1	5	4	2	4	39
55～59 "	18	1	1	3		1	1	11
60 歳以上	13			1		1		11
合計	944	1	2	19	13	57	69	783

消 防 団 員 の 報 酬 等

(円)

報 酬 年 額 (一人当りの額)						
団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員
116,000	82,500	53,000	45,500	38,000	37,000	36,500

出 動 手 当 等 (一人当たり)		機関手当 (一台当たり)	
訓練等手当	救 助 隊 員	自 動 車	小 型 動 力
944 人	179 人	46 台(31 台)	23 台
5,500	2,000	10,000	5,000

()は小型ポンプ積載車

在 職 年 数 別 消 防 団 員 数

(人)

区 分	合 計	5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年以上 15 年未満	15 年以上 20 年未満	20 年以上 25 年未満	25 年以上 30 年未満	30 年以上
消防団員	944	125	196	212	199	135	51	26

消防団員の退職・新任状況

(人)

退職団員数 6.3.31	在 職 年 数						
	5 年未満	5 年以上 10 年未満	10 年以上 15 年未満	15 年以上 20 年未満	20 年以上 25 年未満	25 年以上 30 年未満	30 年以上
35	6	7	8	4	7	1	2

新任団員数 6.4.1	入 団 年 齢						
	21 歳未満	21 歳～ 25 歳	26 歳～ 30 歳	31 歳～ 35 歳	36 歳～ 40 歳	41 歳～ 45 歳	46 歳以上
28	2	5	4	8	8	0	1

消防団機械器具の現有状況

第 1 分団（天童中部地区）

令和 6 年 4 月 1 日現在

区分 所属	車種種別	登録年月日、車名	級 別	経 過 年 数	ポンプ製作所 納入メーカー	備 考
1-1 久野本	消防ポンプ 自動車	R2 年 9 月 いすゞ	CD-I 型 A-2 級	3 年	(株)モリタ (株)長谷川ポンプ製作所	緊急防災・減災事業
1-2 老野森	消防ポンプ 自動車	H9 年 1 月 三菱ふそう	CD-I 型 A-2 級	27 年	太平興業(株) (株)長谷川ポンプ製作所	一般単独事業
1-3 本町	小型動力 ポンプ	H21 年 10 月 ラビット・P456	B-3 級 38kW	14 年	(株)マキタ沼津 日本防災工業(株)山形営業所	地域活性化事業
1-4 小路	小型動力 ポンプ	H18 年 12 月 トーハツ・VC42A(S)	B-3 級 30kW	17 年	トーハツ(株) (株)一辰商会	一般単独事業
合 計	消防ポンプ自動車 2 台		小型動力ポンプ付積載車 0 台		小型動力ポンプ 2 台	

第 2 分団（成生地区）

区分 所属	車種種別	登録年月日、車名	級 別	経 過 年 数	ポンプ製作所 納入メーカー	備 考
2-1 小関	小型動力ポン プ付積載車	H21 年 9 月ラビット H26 年 3 月ダイハツ軽	B-3 級 38kW	14 年 10 年	(株)マキタ沼津 (株)長谷川ポンプ製作所	地域活性化事業 道路局所管補助事業
2-2 高木	小型動力ポン プ付積載車	S62 年 7 月トーハツ V38C H19 年 3 月スバル軽	B-3 級 33PS	36 年 17 年	トーハツ(株) 日本防災工業(株)山形営業所	防災まちづくり事業 一般単独事業
2-3 成生（西）	小型動力 ポンプ	H2 年 11 月 トーハツ・V38C	B-3 級 33PS	33 年	トーハツ(株) (株)長谷川ポンプ製作所	一般単独事業
2-4 大清水	小型動力ポン プ付積載車	H21 年 9 月トーハツ H10 年 10 月トヨタ 付	B-3 級 34kW	14 年 25 年	トーハツ(株) 小林産業	地域活性化事業 一般単独事業
2-5-1 大町	小型動力ポン プ付積載車	R5 年 12 月ダイハツ R5 年 12 月トーハツ	B-2 級 62PS	0 年 0 年	トーハツ(株) (株)長谷川ポンプ製作所	一般単独事業
2-5-2 今町	小型動力 ポンプ	S60 年 3 月 トーハツ・V38B	B-3 級 33PS	39 年	トーハツ(株) (株)長谷川ポンプ製作所	大震災火災補助事業
2-7 成生（東）	消防ポンプ 自動車	H12 年 3 月 トヨタ	CD-I 型 A-2 級	24 年	山形トヨタ(株) 今川ポンプ(株)	一般単独事業
2-8 向原	小型動力ポン プ付積載車	R4 年 3 月トーハツ VF63AS R4 年 3 月ダイハツ軽	B-2 級 22KW	2 年 2 年	トーハツ(株) (株)長谷川ポンプ製作所	緊急防災・減災事業
合 計	消防ポンプ自動車 1 台		小型動力ポンプ付積載車 5 台		小型動力ポンプ 2 台	

第3分団（蔵増地区）

区分 所属	車種種別	登録年月日、車名	級 別	経 過 年 数	ポンプ製作所 納入メーカー	備 考
3-1 塚野目	小型動力ポン プ付積載車	H9年1月トーハツ H26年3月ダイハツ軽	B-3級 37PS	27年 10年	トーハツ(株) (株)長谷川ポンプ製作所	一般単独事業 道路局所管補助事業
3-2 矢野目	小型動力ポン プ付積載車	H21年10月ラビット H17年12月トヨタ	B-3級 38kW	14年 18年	(株)マキタ沼津 (株)長谷川ポンプ製作所	地域活性化事業 一般単独事業
3-3 小矢野目	小型動力 ポンプ	H20年11月 シバウラ・SF651Z	B-3級 34kW	15年	石川島芝浦機械(株) 近藤防災(株)	一般単独事業
3-4 南区	消防ポンプ 自動車	H30年11月 いすゞ	CD-I型 A-2級	5年	(株)モリタ (株)長谷川ポンプ製作所	国庫補助事業
3-5 中区	小型動力 ポンプ	S58年9月 トーハツ・V38B	B-3級 33PS	40年	トーハツ(株) (株)長谷川ポンプ製作所	大震災災補助事業
3-6 北区	小型動力ポン プ付積載車	H26年3月トーハツ H8年12月日産	B-3級 30kW	10年 27年	トーハツ(株) 小林産業	一般単独事業 一般単独事業
3-7 高野辺	小型動力 ポンプ	R2年11月 シバウラ・FK500	B-2級 33kW	3年	(株)シバウラ防災制作所 近藤防災(株)	緊急防災・減災事業
3-8 窪野目	小型動力ポン プ付積載車	S60年3月トーハツ H21年10月三菱軽	B-3級 33PS	39年 14年	トーハツ(株) 近藤防災(株)	大震災災補助事業 地域活性化事業
合 計	消防ポンプ自動車 1台		小型動力ポンプ付積載車 4台		小型動力ポンプ 3台	

第4分団（寺津地区）

区分 所属	車種種別	登録年月日、車名	級 別	経 過 年 数	ポンプ製作所 納入メーカー	備 考
4-1-1 寺津（東）	消防ポンプ 自動車	H21年11月 日野自動車	CD-I型 A-2級	14年	(株)モリタ (株)長谷川ポンプ製作所	一般単独事業
4-1-2 寺津（西）	小型動力 ポンプ	H2年11月 トーハツ・V38C	B-3級 33PS	33年	トーハツ(株) (株)長谷川ポンプ製作所	国庫補助事業
4-2-1 藤木新田（北）	小型動力ポン プ付積載車	S59年7月トーハツ・V38B H14年12月日産	B-3級 33PS	39年 21年	(株)一辰商会 山形日産天童	一般単独事業
4-2-2 藤木新田（南）	小型動力 ポンプ	H19年8月 ラビット・P455DAN	B-3級 34kW	16年	富士ロビン(株) 日本防災工業(株)山形営業所	一般単独事業
合 計	消防ポンプ自動車 1台		小型動力ポンプ付積載車 1台		小型動力ポンプ 2台	

第5分団（津山地区）

区分 所属	車種種別	登録年月日、車名	級 別	経 過 年 数	ポンプ製作所 納入メーカー	備 考
5-1-1 立宿	小型動力ポン プ付積載車	H21年9月トーハツ H19年3月スバル軽	B-3級 34kW	14年 17年	トーハツ(株) 日本防災工業(株)山形営業所	地域活性化事業 一般単独事業
5-1-2 若松	小型動力 ポンプ	H26年3月 トーハツ・VC42AS	B-3級 30kW	10年	トーハツ(株) (株)長谷川ポンプ製作所	一般単独事業
5-2 下貫津	小型動力ポン プ付積載車	H19年8月ラビットP445 H14年12月ニッサンアトラス	B-3級 34kW	16年 21年	日本防災工業(株)山形営業所 山形日産天童	一般単独事業
5-3-1 温泉	消防ポンプ 自動車	H27年3月 トヨタダイナ	CD-I型 A-2級	9年	(株)モリタ (株)長谷川ポンプ製作所	緊急防災・減災事業
5-3-2 関の上	小型動力 ポンプ	H17年12月 トーハツ・VC42A	B-3級 34kW	18年	トーハツ(株) (株)長谷川ポンプ製作所	一般単独事業
5-4 上貫津	小型動力ポン プ付積載車	H7年12月ラビットP450 H22年10月ダイハツ軽	B-3級 36PS	28年 13年	富士ロビン(株) (株)一辰商会	国庫補助事業 道路局所管補助事業
合 計	消防ポンプ自動車 1台		小型動力ポンプ付積載車 3台		小型動力ポンプ 2台	

第 6 分団（田麦野地区）

区分 所属	車種種別	登録年月日、車名	級 別	経 過 年 数	ポンプ製作所 納入メーカー	備 考
6-1-1 田麦野（日陰）	小型動力ポン プ付積載車	R3 年 11 月 トーハツ VF63AS R3 年 11 月 トーハツ VF21B R3 年 11 月 トヨタ ダイ	B-2 級 22kW C-1 級 7.3kW	2 年 2 年 2 年	トーハツ(株) トーハツ(株) (株)長谷川ポンプ製作所	緊急防災・減災事業
6-1-2 田麦野（日向）	小型動力ポン プ付積載車	H2 年 11 月 トーハツ・V38C H12 年 11 月 トヨタ	B-3 級 33PS	33 年 23 年	トーハツ(株) 今川ポンプ(株)	一般単独事業
合 計	消防ポンプ自動車 0 台		小型動力ポンプ付積載車 2 台		小型動力ポンプ 0 台	

第 7 分団（山口地区）

区分 所属	車種種別	登録年月日、車名	級 別	経 過 年 数	ポンプ製作所 納入メーカー	備 考
7-1 上山口	小型動力ポン プ付積載車	H18 年 12 月 トーハツ H20 年 10 月 ダイハツ軽	B-3 級 34kW	17 年 15 年	トーハツ(株) (株)長谷川ポンプ製作所	一般単独事業
7-3 中山口	小型動力 ポンプ	S60 年 9 月 トーハツ・V38B	B-3 級 33PS	38 年	トーハツ(株) (株)一辰商会	国庫補助事業
7-4 下山口（南）	消防ポンプ 自動車	H13 年 3 月 日産ディーゼル	CD-I 型 A-2 級	23 年	東北日産ディーゼル(株) (株)長谷川ポンプ製作所	一般単独事業
7-5 下山口（北）	消防ポンプ 自動車	H6 年 9 月 三菱キャンター	CD-I 型 A-2 級	29 年	太平興業(株) (株)長谷川ポンプ製作所	一般単独事業
7-6 二子沢	小型動力 ポンプ	S61 年 10 月 ラビット・P407R	B-3 級 34PS	37 年	富士ロビン(株) 今川ポンプ(株)	防災まちづくり事業
7-7 原崎	小型動力ポン プ付積載車	H30 年 3 月 シバウラ H30 年 3 月 スズキ軽	B-3 級 32kW	6 年	(株)シバウラ防災制作所 近藤防災(株)	緊急防災・減災事業
7-8 川原子	小型動力ポン プ付積載車	H2 年 11 月 トーハツ・V38C H15 年 12 月 三菱軽	B-3 級 33PS	33 年 20 年	トーハツ(株) 近藤防災(株)	一般単独事業 国庫補助事業
7-9-1 谷地中	小型動力 ポンプ	S62 年 7 月 トーハツ・V38C	B-3 級 33PS	36 年	トーハツ(株) (株)長谷川ポンプ製作所	防災まちづくり事業
7-9-2 荒井原	小型動力 ポンプ	H20 年 11 月 シバウラ・SF651Z	B-3 級 34kW	15 年	石川島芝浦機械(株) 近藤防災(株)	一般単独事業
7-10 小原	小型動力ポン プ付積載車	R2 年 3 月 トーハツ R2 年 3 月 ダイハツ	B-3 級 37PS	4 年 4 年	トーハツ(株) 日本防災工業(株)山形営業所	緊急防災・減災事業
7-11 道満	小型動力ポン プ付積載車	H21 年 10 月 ラビット P456 H23 年 12 月 スバル軽	B-3 級 38kW	14 年 12 年	(株)マキタ沼津 日本防災工業(株)山形営業所	地域活性化事業 地域活性化事業
合 計	消防ポンプ自動車 2 台		小型動力ポンプ付積載車 5 台		小型動力ポンプ 4 台	

第 8 分団（高嶺地区）

区分 所属	車種種別	登録年月日、車名	級 別	経 過 年 数	ポンプ製作所 納入メーカー	備 考
8-1-1 西楯	小型動力 ポンプ	S60 年 9 月 トーハツ・V38B	B-3 級 33PS	38 年	トーハツ(株) (株)一辰商会	国庫補助事業
8-1-2 高嶺	小型動力ポン プ付積載車	H30 年 2 月トヨタ H30 年 2 月 VF63AS-R	B-2 級 22kw	6 年	トーハツ(株) (株)長谷川ポンプ製作所	緊急防災・減災事業
8-2-1 堀端	消防ポンプ 自動車	H7 年 11 月 三菱キャンター	CD-I 型 A-2 級	28 年	今川ポンプ(株)	一般単独事業
8-2-2 金谷	小型動力 ポンプ	S61 年 10 月 ラビット・P407R	B-3 級 34PS	37 年	富士ロビン(株) 今川ポンプ(株)	防災まちづくり事業
8-3-1 清池	小型動力 ポンプ	S62 年 7 月 トーハツ・V38C	B-3 級 33PS	36 年	トーハツ(株) (株)長谷川ポンプ製作所	防災まちづくり事業
8-3-2 長岡	消防ポンプ 自動車	H14 年 3 月 いすゞエルフ	CD-I 型 A-2 級	22 年	日本機械工業(株) 今川ポンプ(株)	一般単独事業
8-3-3 芳賀	小型動力ポン プ付積載車	S60 年 3 月トーハツ・V38B H22 年 10 月ダイハツ軽	B-3 級 33PS	39 年 13 年	トーハツ(株) (株)一辰商会	大震災補助事業 道路局所管補助事業
合 計	消防ポンプ自動車 2 台		小型動力ポンプ付積載車 2 台		小型動力ポンプ 3 台	

第 9 分団（干布地区）

区分 所属	車種種別	登録年月日、車名	級 別	経 過 年 数	ポンプ製作所 納入メーカー	備 考
9-1 奈良沢	消防ポンプ 自動車	H30 年 2 月 いすゞ	CD-I 型 A-2 級	6 年	(株)モリタ (株)長谷川ポンプ製作所	緊急防災・減災事業
9-2 原町	小型動力ポン プ付積載車	H12 年 3 月ラビットP455 H13 年 12 月日産アトラス	B-3 級 33kW	24 年 22 年	今川ポンプ(株) (株)長谷川ポンプ製作所	一般単独事業
9-3 上萩野戸	小型動力ポン プ付積載車	H23 年 12 月トーハツ・VC62AS-R H23 年 12 月トヨタダイナ	B-3 級 43kw	12 年 12 年	トーハツ(株) (株)一辰商会	一般単独事業
9-4 石倉	小型動力ポン プ付積載車	H1 年 3 月ラビットP405R H24 年 11 月ダイハツ軽	B-3 級 34PS	35 年 11 年	今川ポンプ(株) (株)長谷川ポンプ製作所	防災まちづくり事業 一般単独事業
9-5 出田原	小型動力 ポンプ	H21 年 10 月 ラビット・P456	B-3 級 38kW	14 年	(株)マキタ沼津 日本防災工業(株)山形営業所	地域活性化事業
9-6 片羽	小型動力ポン プ付積載車	H1 年 3 月ラビット・P407 H19 年 11 月ダイハツ軽	B-3 級 34PS	35 年 16 年	今川ポンプ(株) (株)一辰商会	防災まちづくり事業 一般単独事業
合 計	消防ポンプ自動車 1 台		小型動力ポンプ付積載車 4 台		小型動力ポンプ 1 台	

第 10 分団（荒谷地区）

区分 所属	車種種別	登録年月日、車名	級 別	経 過 年 数	ポンプ製作所 納入メーカー	備 考
10-1 荒谷	消防ポンプ 自動車	R4 年 12 月 いすゞ	CD-I 型 A-2 級	1 年	(株)モリタ (株)長谷川ポンプ製作所	一般単独事業
10-2 上荒谷	消防ポンプ 自動車	H9 年 11 月 三菱ふそう	CD-I 型 A-2 級	26 年	太平興業(株) 今川ポンプ(株)	一般単独事業
10-3 荒谷原	小型動力ポン プ付積載車	R3 年 1 月トーハツ R3 年 1 月ダイハツ軽	B-2 級 39kw	3 年 3 年	トーハツ(株) (株)長谷川ポンプ製作所	緊急防災・減災事業
合 計	消防ポンプ自動車 2 台		小型動力ポンプ付積載車 1 台		小型動力ポンプ 0 台	

第 11 分団（長岡地区）

区分 所属	車種種別	登録年月日、車名	級 別	経 過 年 数	ポンプ製作所 納入メーカー	備 考
11-1 中里	消防ポンプ 自動車	H30 年 11 月 いすゞ	CD-I 型 A-2 級	5 年	(株)モリタ (株)長谷川ポンプ製作所	国庫補助事業
11-2 東芳賀	小型動力ポン プ付積載車	H15 年 2 月トーハツ・VC52A H17 年 12 月三菱軽	B-3 級 34kW	21 年 18 年	トーハツ(株) 今川ポンプ(株)	一般単独事業
合 計	消防ポンプ自動車 1 台		小型動力ポンプ付積載車 1 台		小型動力ポンプ 0 台	

第 12 分団（天童南部地区）

区分 所属	車種種別	登録年月日、車名	級 別	経 過 年 数	ポンプ製作所 納入メーカー	備 考
12-1-1 五日町	消防ポンプ 自動車	H19 年 11 月 トヨタダイナ	CD-I 型 A-2 級	16 年	日本機械工業(株) 今川ポンプ(株)	一般単独事業
12-1-2 三日町	小型動力 ポンプ	R2 年 11 月 シバウラ・FK500	B-2 級 33kw	3 年	(株)シバウラ防災制作所 近藤防災(株)	緊急防災・減災事業
12-2 一日町	小型動力ポン プ付積載車	H1 年 3 月ラビット H17 年 12 月三菱軽	B-3 級 34PS	35 年 18 年	富士ロビン(株) 今川ポンプ(株)	一般単独事業
12-3 北目	小型動力ポン プ付積載車	H25 年 11 月ラビット H20 年 10 月ダイハツ軽	B-3 級 32kW	10 年 14 年	トーハツ(株) (株)長谷川ポンプ製作所	一般単独事業
12-4 田鶴町	小型動力 ポンプ	H1 年 3 月 ラビット・P407R	B-3 級 34PS	35 年	富士ロビン(株) 今川ポンプ(株)	一般単独事業
合 計	消防ポンプ自動車 1 台		小型動力ポンプ付積載車 2 台		小型動力ポンプ 2 台	

第 13 分団（天童北部地区）

区分 所属	車種種別	登録年月日、車名	級 別	経 過 年 数	ポンプ製作所 納入メーカー	備 考
13-1 乱川	小型動力ポン プ付積載車	H7 年 12 月ラビットP450 H9 年 12 月日産	B-3 級 36PS	28 年 26 年	今川ポンプ(株) 小林産業	県費補助事業 一般単独事業
13-2-1 北久野本	小型動力 ポンプ	S62 年 7 月 トーハツ・V38C	B-3 級 27PS	36 年	トーハツ(株) (株)長谷川ポンプ製作所	防災まちづくり事業
13-2-2 天童原	小型動力 ポンプ	S59 年 3 月 ラビット・P407A	B-3 級 34PS	40 年	富士ロビン(株) 今川ポンプ(株)	大震災補助事業
合 計	消防ポンプ自動車 0 台		小型動力ポンプ付積載車 1 台		小型動力ポンプ 2 台	